

令和6年度 第1回牧之原市地域公共交通会議 次第

日 時 令和6年7月19日（金） 午後2時～

会 場 相良総合センターい～ら 福祉団体活動室

1 開 会

2 会長挨拶

3 報告

（1）牧之原市の公共交通についての現状

- ① 牧之原市地域公共交通会議について … 資料1
- ② 牧之原市の公共交通について … 資料2
- ③ 市営バス鬼女・菅山線の事故について … 資料3
- ④ 交通事業者から現状についての報告

（2）牧之原市地域公共交通計画について

- ① 牧之原市地域公共交通計画における各事業の方向性 … 資料4

（3）令和6年度事業について

- ① 牧之原市路線バス通学定期券購入費補助金について … 資料5
- ② 小学生バス無料デーの実施について（静岡県） … 資料6
- ③ バスの運賃改定について … 資料7

4 その他

5 閉会

委員名簿 ※部会員・・・評価改善部会、運賃協議部会に出席いただく委員

職 名	氏 名	備考
牧之原市 副市長	大石 勝彦	
地区長会	平岡 敏弘	(新) 部会員
牧之原市消費者協会 会長	竹内 桂子	(新) 部会員
牧之原市商工会 副会長	水野 悦裕	
(一社)まきのほら活性化センター センター長	加藤 智	
牧之原市社会福祉協議会 事務局長	榛葉 清澄	(新)
公募市民	増田 知志	部会員
公募市民	赤堀 康彦	部会員
中部運輸局静岡運輸支局 首席運輸企画専門官	増田 秀典	部会員(運賃)
静岡県 交通基盤部都市局 地域交通課 課長	片山 広文	
しずてつジャストライン(株) 運行企画部長兼輸送計画室長	藁科 孝佳	部会員
東海タクシー(株) 代表取締役	大塚 弘子	部会員
御前崎タクシー(株)(梅田交通グループ) 代表取締役	古知 愛一郎	部会員
一般社団法人静岡県バス協会 専務理事	堀内 哲郎	
ジャストライン労働組合 書記長	都築 康彰	
静岡県 島田土木事務所 工事第3課 課長	田中 秀和	
牧之原市 建設部長	池田 武	(新)
静岡県警察本部 牧之原警察署 交通課長	多々良 公佑	
豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 准教授	松尾 幸二郎	部会員
牧之原市 企画政策部長	大石 佳伸	部会員
牧之原市 教育文化部長	竹内 英人	(新)
牧之原市 福祉こども部長	櫻井 康章	
牧之原市 産業経済部長	原口 亨	
牧之原市 健康推進部長	河原崎 貞行	

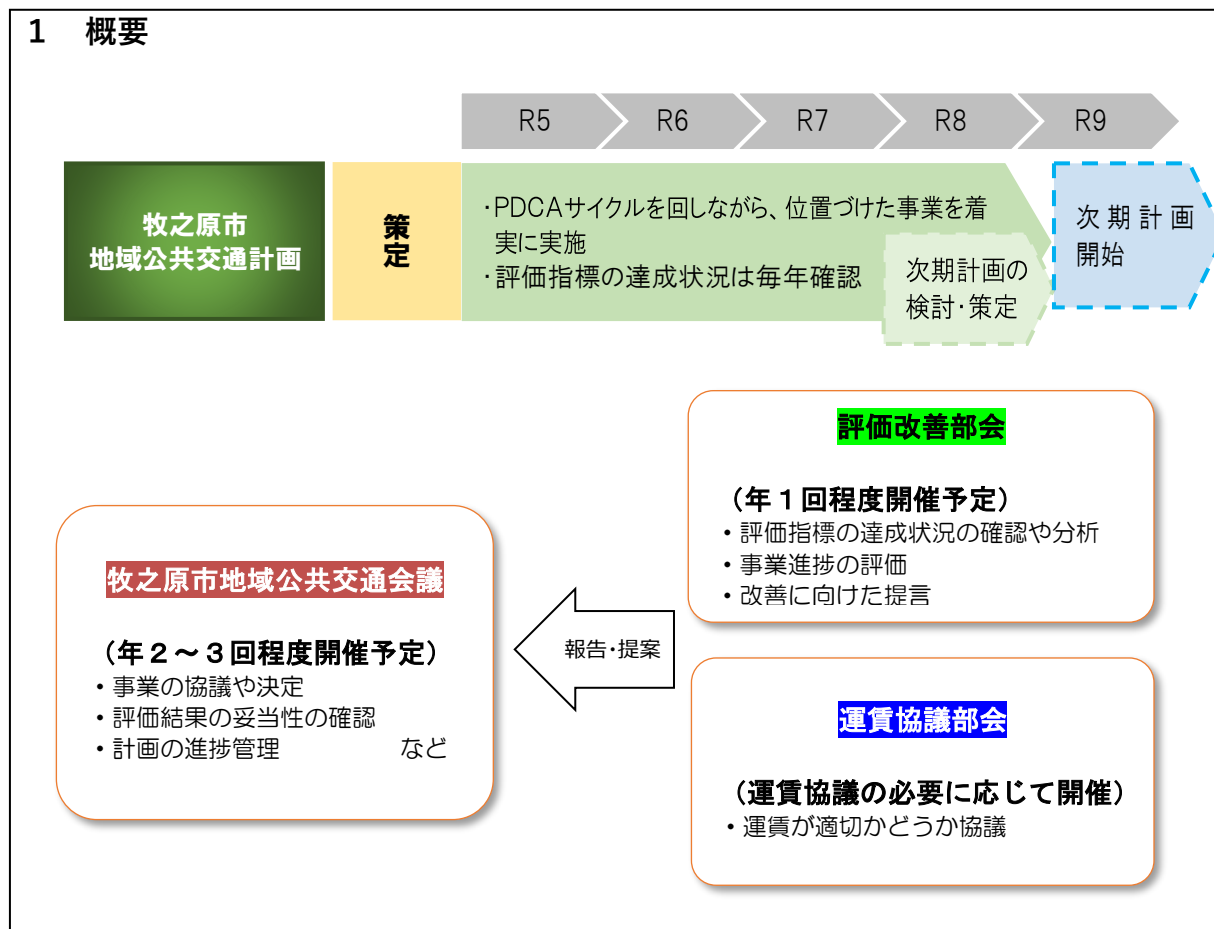
事務局

地域振興課 課長	原口 克也
地域振興課 空港交通係 係長	増田 隆助
主査	笠井 麻央

牧之原市地域公共交通会議について

企画政策部地域振興課

1 概要



2 令和6年度会議、事業スケジュール

時期	内容	備考
7月19日	第1回 公共交通会議	取組の方向性、6年度事業計画
	第1回 運賃協議部会	自主運行バス運賃改定協議
10月	第1回 評価改善部会	R5事業の評価、R6事業の進捗状況
1月	第2回 公共交通会議	R7運行の承認

3 委員別の部会委員

部会	部会長	委員
評価改善部会	学識経験者	地区長会、消費者協会、公募市民、 <u>交通事業者</u>
運賃協議部会	企画政策部長	地区長会、消費者協会、公募市民、 <u>静岡運輸支局</u> ※交通事業者は運賃改定に関係する事業者のみ

公共交通の現状

(令和5年度実績)

令和6年7月

地域振興課

路線図

【乗合バス路線】

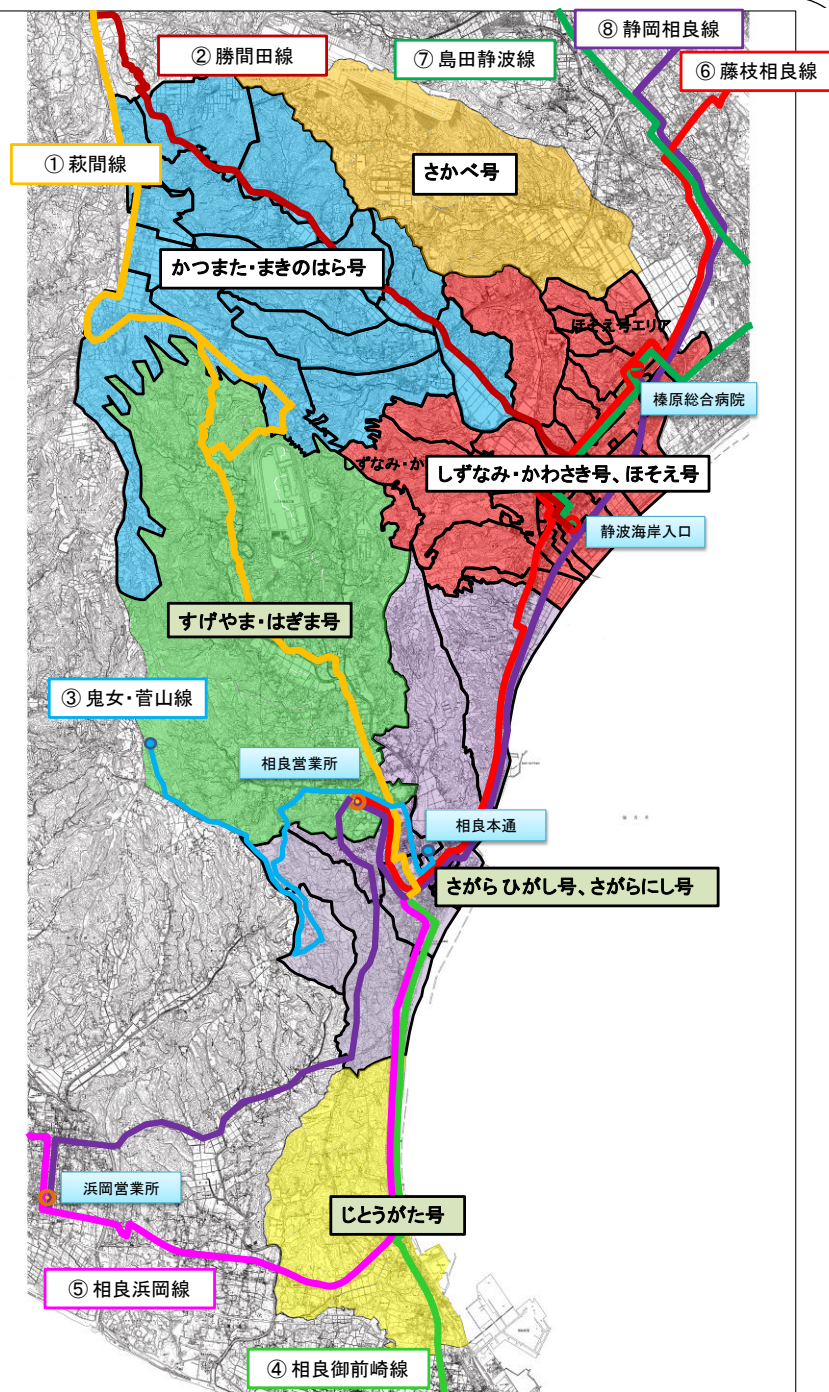
- (特急) 静岡相良線(紫)
- 藤枝相良線(赤)
- 島田静波線(緑)

【自主運行バス路線】

- 萩間線(黄)
- 勝間田線(茶)
- 鬼女・菅山線(青)
- 相良御前崎線(黄緑)
- 相良浜岡線(紫)

【デマンド乗合タクシー】

- さかべ号(令和2年4月から本運行)
- **かつまた・まきのはら号(令和6年4月から統合)**
- すげやま・はぎま号(令和4年4月から本運行)
- **じとうがた号(令和6年4月から本運行)←新規**
- しずなみ・かわさき号、ほそえ号
(令和4年11月から試験運行)
- さがらひがし号、さがらにし号
(令和4年12月から試験運行)



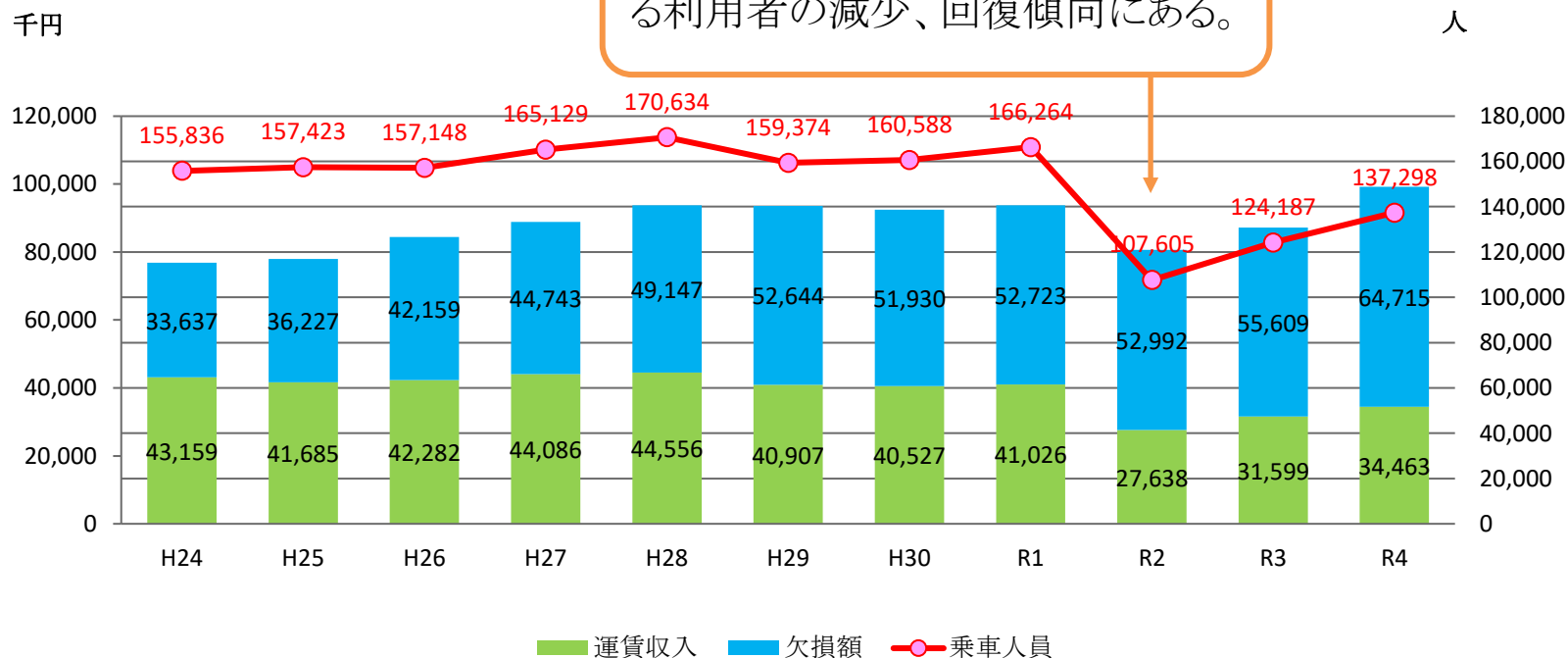
【島田静波線】

起点	終点	日便数
島田駅 (島田市立総合医療センター)	静波海岸入口	35便: 平日 14便: 土日祝日

運行経費と乗車人員

R6.1より33便に減便

新型コロナウイルス感染症拡大による利用者の減少、回復傾向にある。



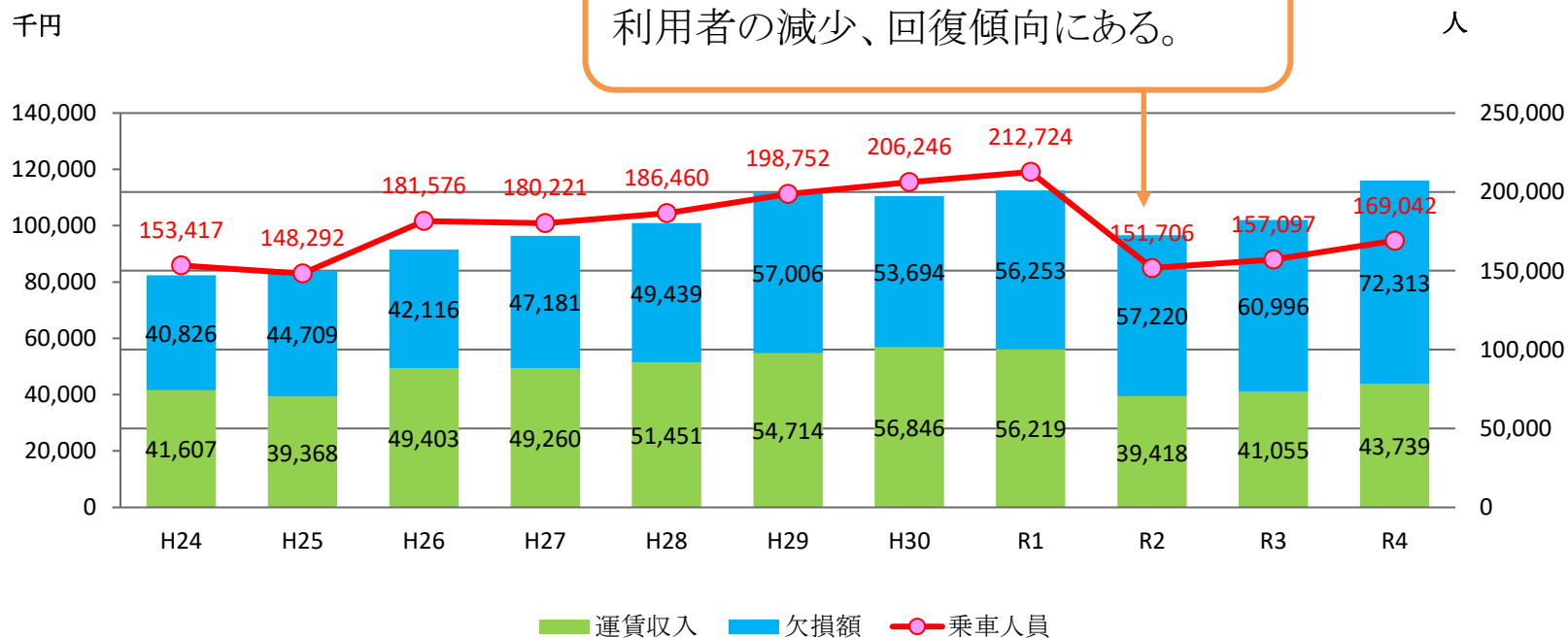
【藤枝相良線】

起点	終点	日便数
藤枝駅南口	相良営業所	30便：平日 20便：土日祝日

R6.1より24便に減便

運行経費と乗車人員

新型コロナウイルス感染症拡大による
利用者の減少、回復傾向にある。



藤枝相良線、島田静波線の補助金額について

【牧之原市の補助金額】

(千円)

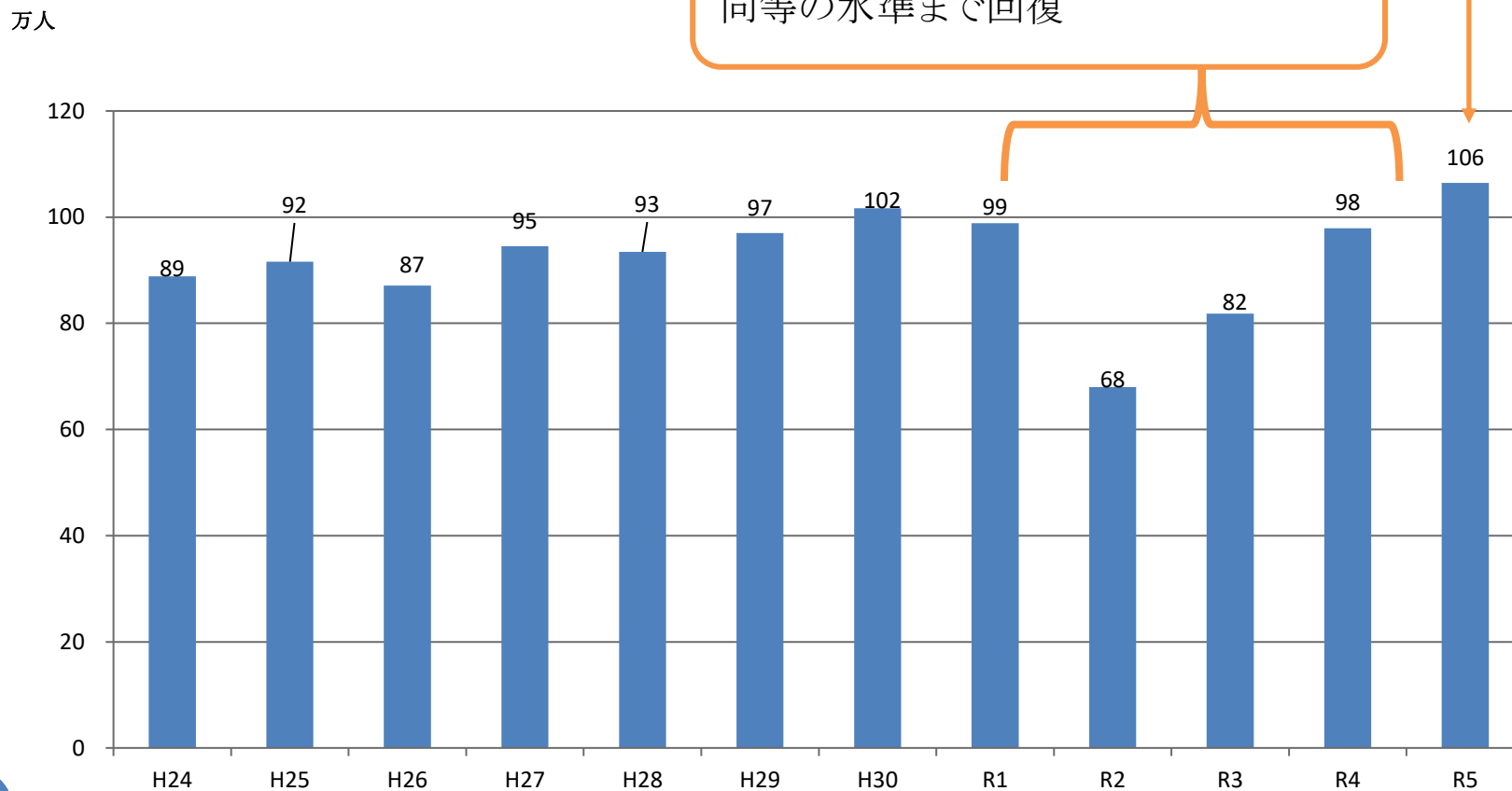
	藤枝相良線	島田静波線	計	備考
平成29年度	11,653,764		11,653,764	補助開始
平成30年度	2,724,094	0	2,724,094	
令和元年度	0	1,387,908	1,387,908	
令和2年度	3,499,111	1,882,333	5,381,444	国補助対象以外も対象
令和3年度	3,812,268	3,316,058	7,128,326	
令和4年度	6,224,877	4,899,840	11,124,717	
令和5年度	14,677,170	3,487,837	18,165,007	

■ 静岡相良線

乗車人員

過去最高利用者数を更新(R5)

新型コロナウイルス感染症拡大前と同等の水準まで回復



■ 自主運行バス

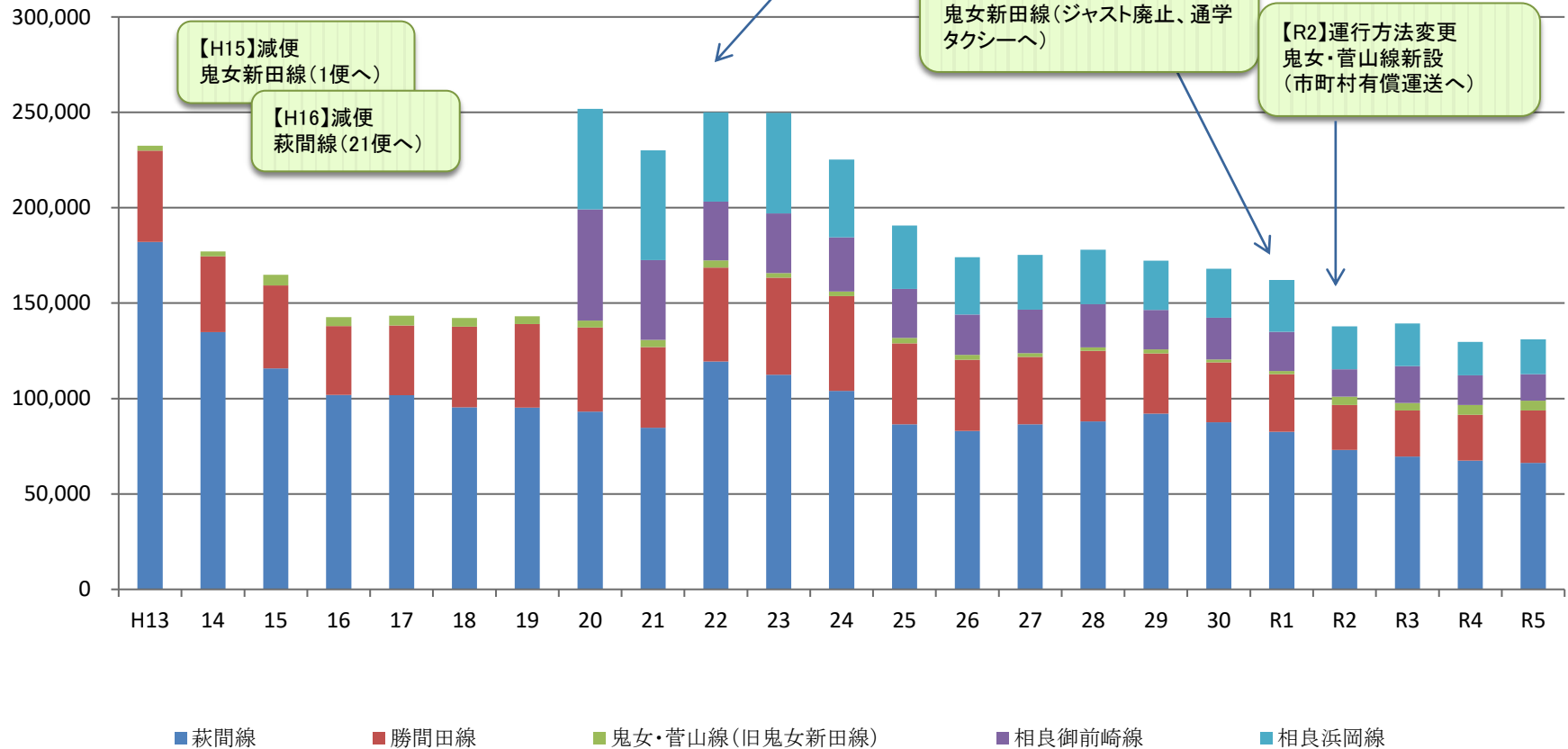
路線名	起点	終点	経路市町(◎は運行主体)
萩間線	相良本通	金谷駅 (金谷小学校)	島田市・菊川市・◎牧之原市
勝間田線	静波海岸入口	金谷駅 (金谷小学校)	島田市・◎牧之原市
鬼女菅山線	菅山原	相良庁舎	牧之原市
相良御前崎線	御前崎海洋センター	相良本通	◎御前崎市・牧之原市
相良浜岡線	御前崎総合病院 (浜岡営業所)	相良本通	◎御前崎市・牧之原市

路線名	1日便数 ()は休日	乗車人数/日 (R5OD調査)	利用客中の 小学生割合	主な停留所
萩間線	21(14)	220	40.5%	金谷駅、金谷小学校、相良本通
勝間田線	10(6)	52	61.5%	金谷駅、金谷小学校、静波海岸入口
鬼女・菅山線	3(0)	27	88.8%	相良庁舎、菅山小学校
相良御前崎線	19(14)	51	5.9%	相良本通、御前崎海洋センター
相良浜岡線	24(13)	62	0%	相良本通、浜岡営業所、御前崎総合病院

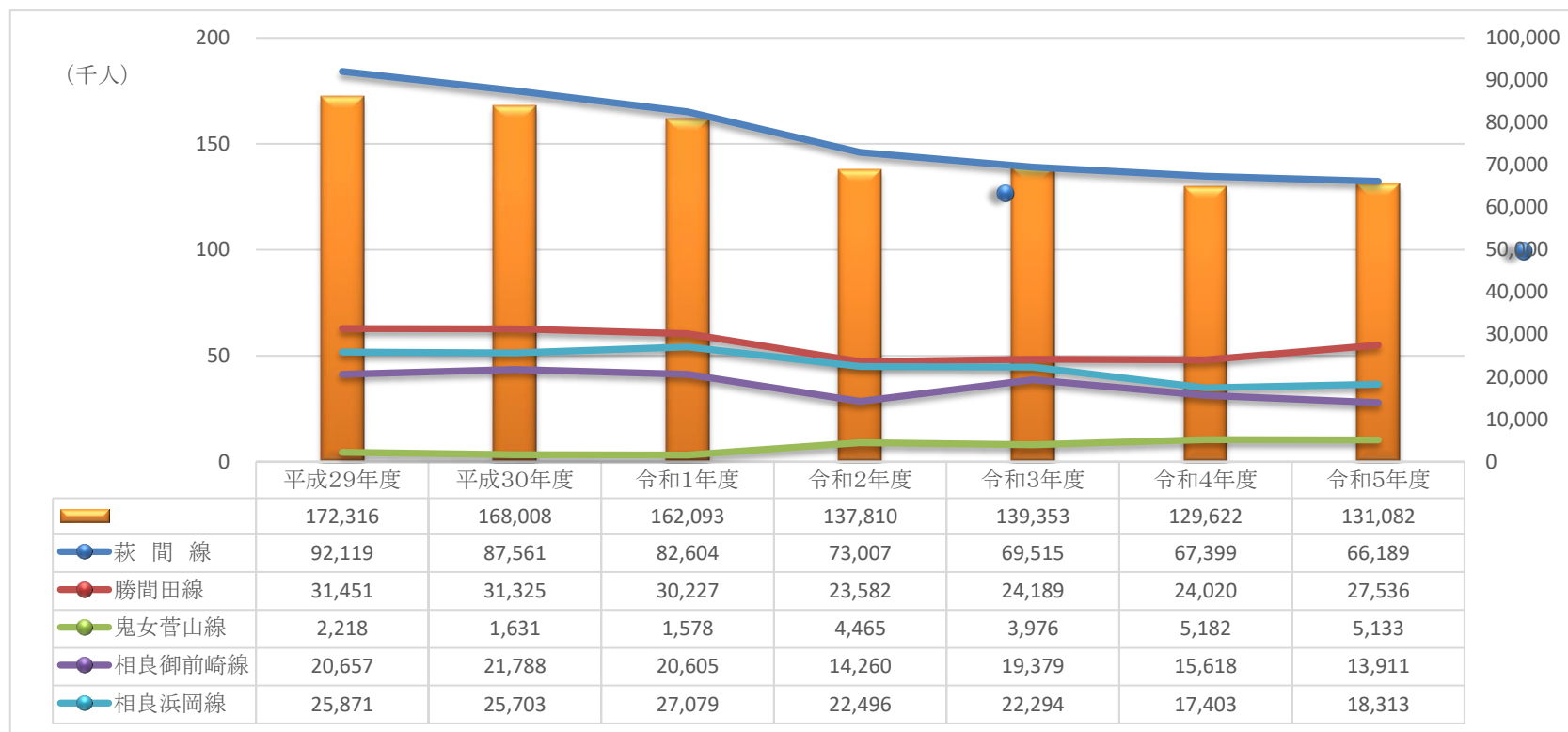
※◎印は、委託等の事務を行う市。

乗車人員の推移

人



乗車人員の推移

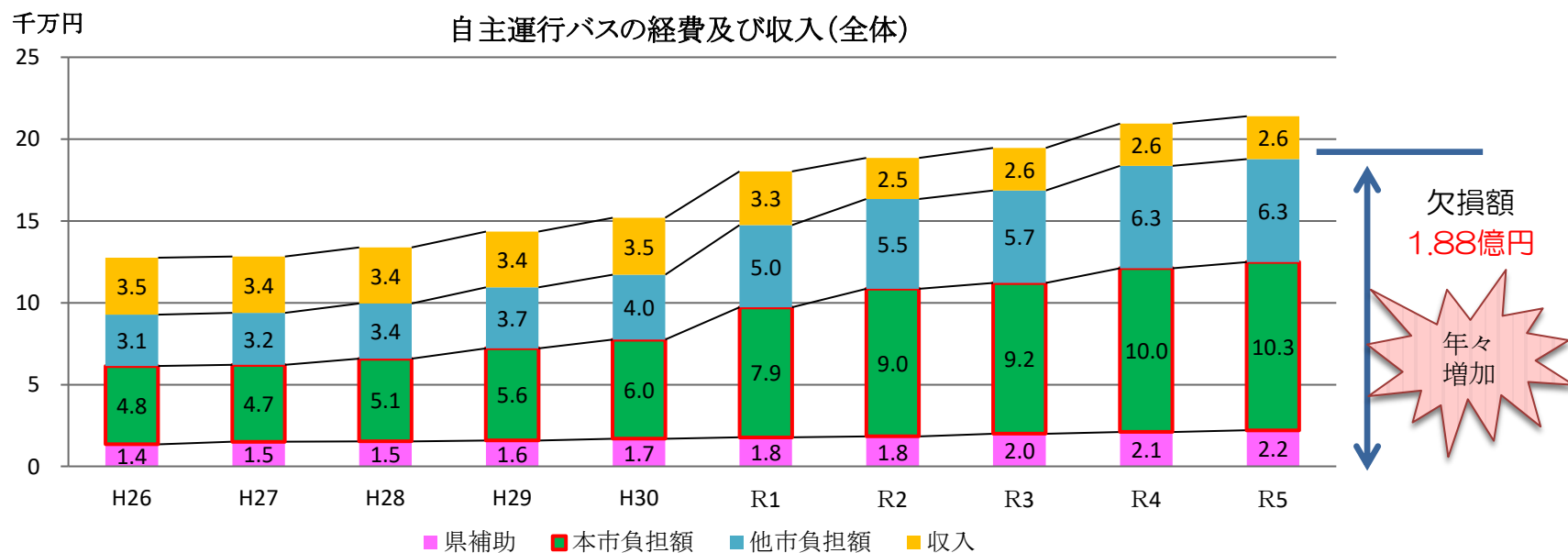


年々**減少傾向**にある。

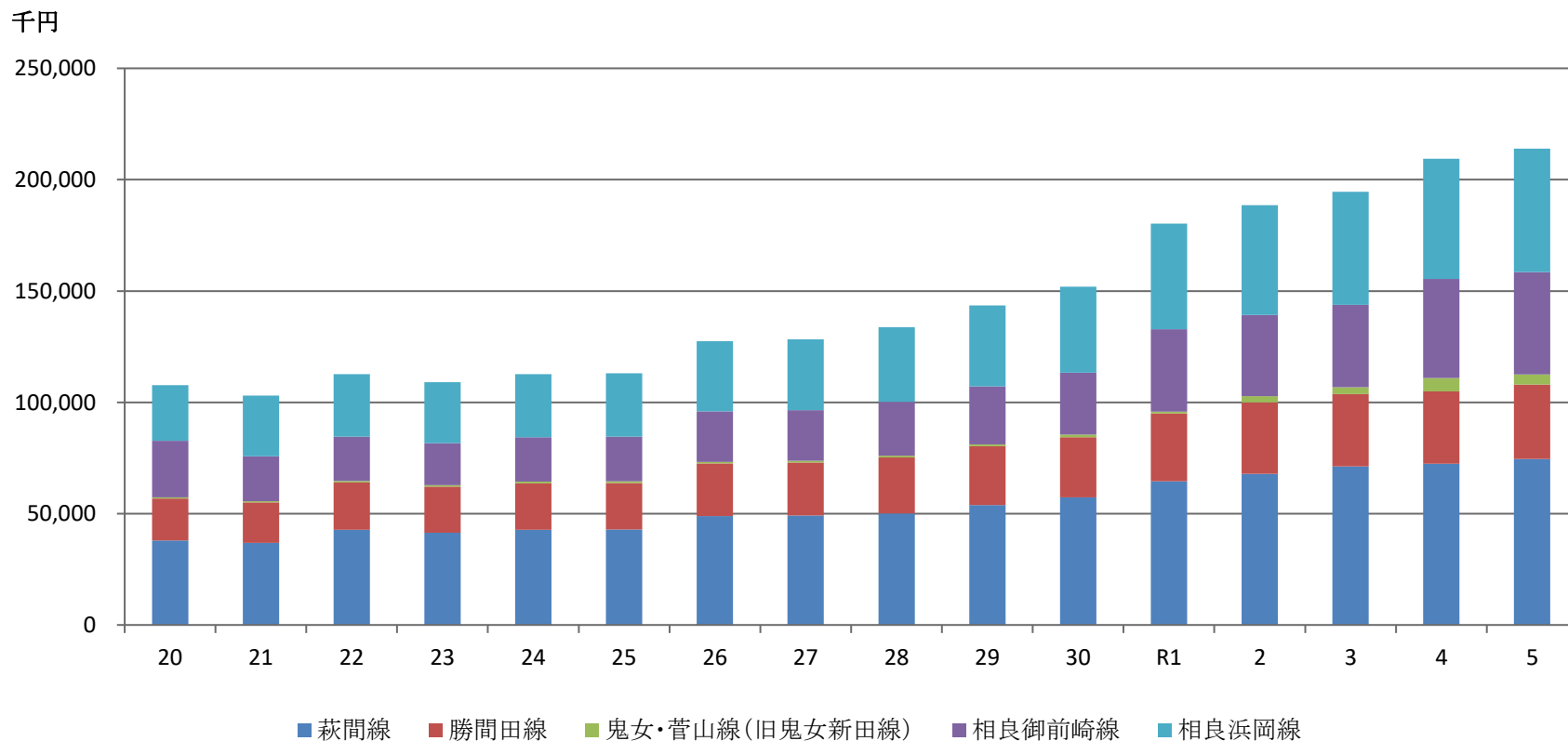
新型コロナウイルス感染症が5類となり利用者数は戻りつつあるが、特に高校生が多く利用する路線で、利用者が戻っていないように見受けられる。

運行に関する経費(令和5年度実績)

路線名	委託金額	運賃収入	欠損額	市実質負担額
萩間線	74,591,000	13,468,768	61,122,232	32,906,931
勝間田線	33,440,000	3,241,651	30,198,349	17,908,215
鬼女・菅山線	4,448,400	401,155	4,047,245	3,163,245
相良御前崎線	45,969,000	3,958,107	42,010,893	23,977,354
相良浜岡線	55,506,000	5,066,120	50,439,880	24,818,752
計	213,954,400	26,135,801	187,818,599	102,774,497



運行経費の推移

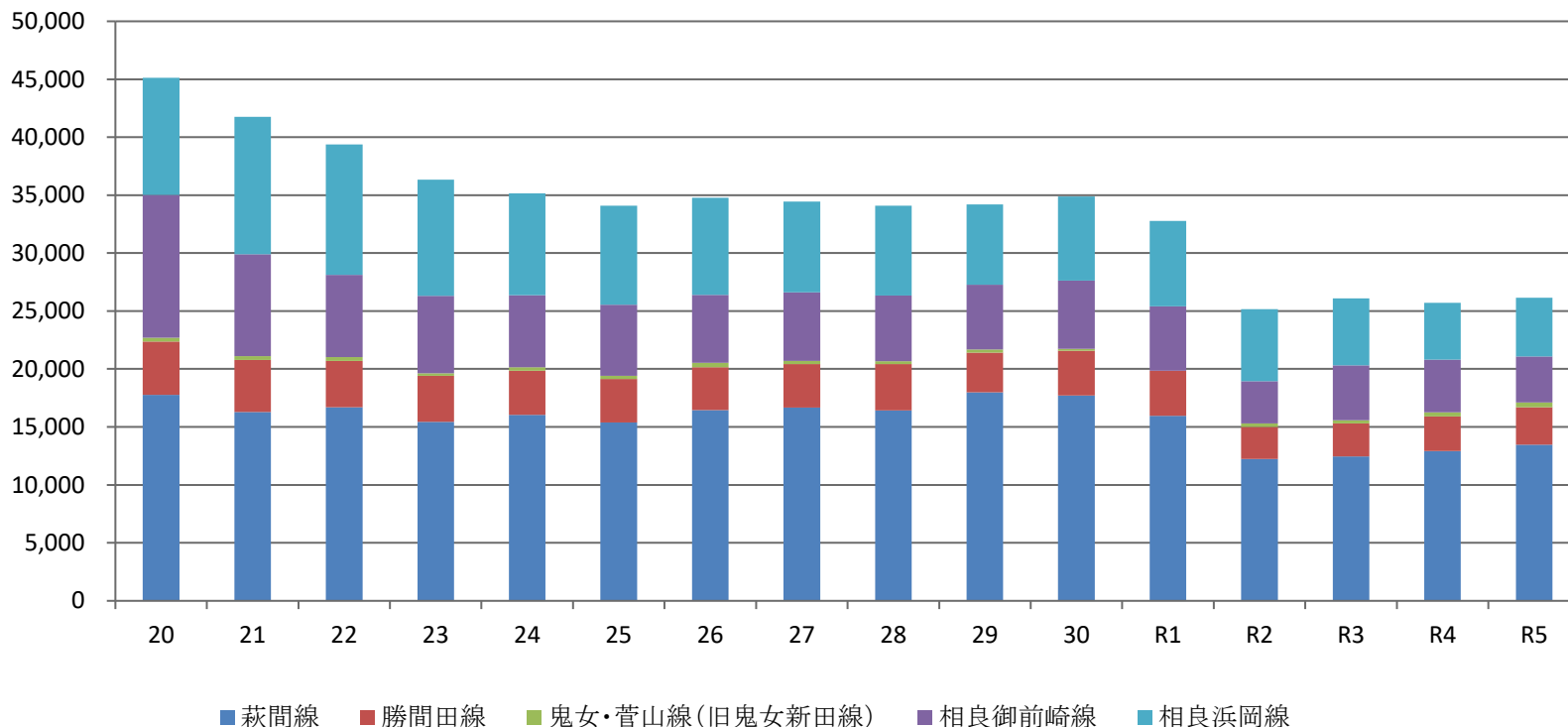


経費は年々上昇している……平成20年の約2倍
要因は、運転手不足への待遇改善経費の増加、燃料費の変動
ジャストラインのキロ当たり経費の変動が大きく影響する。

運賃収入の推移

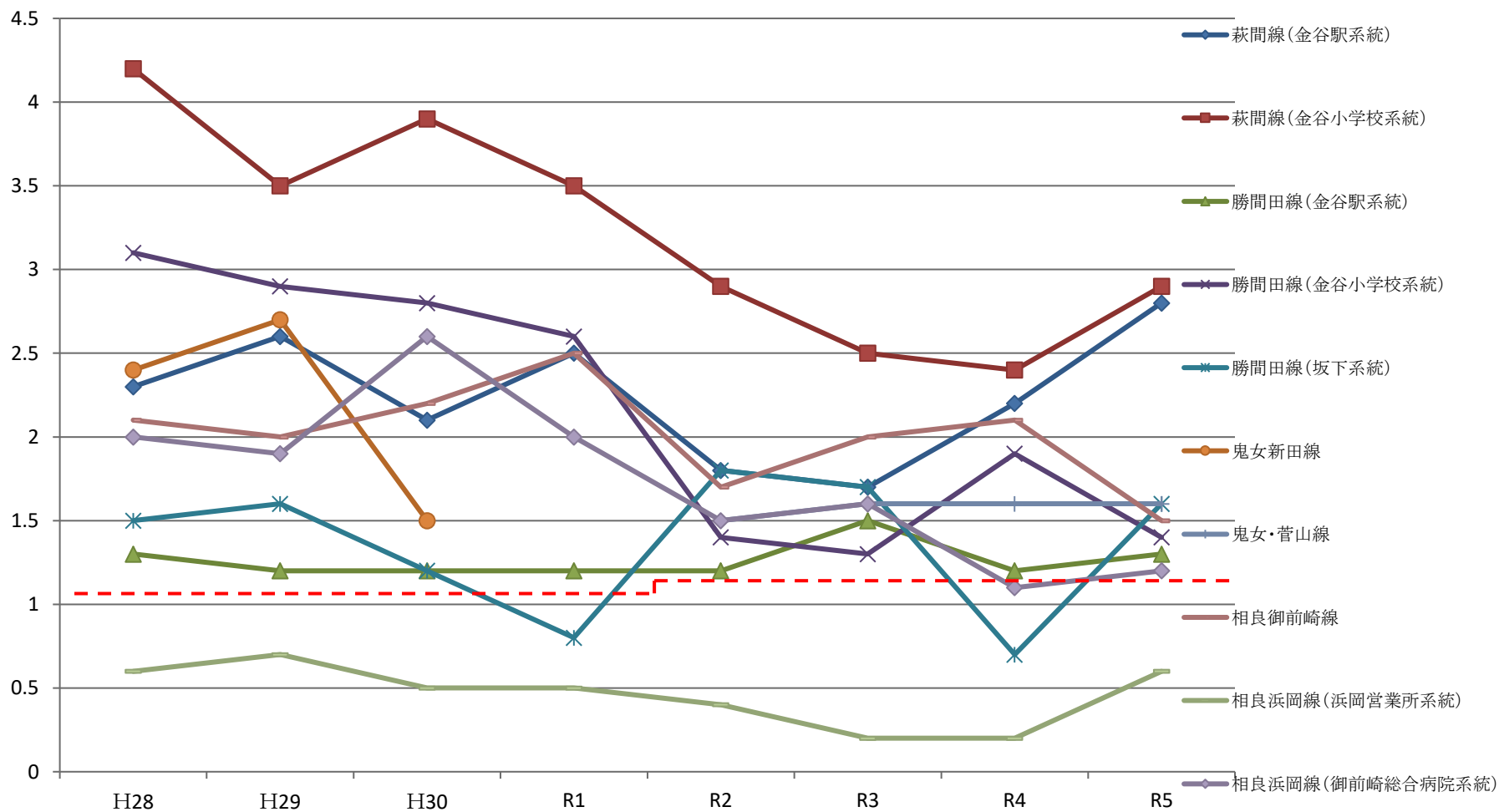
千円

運賃収入の推移

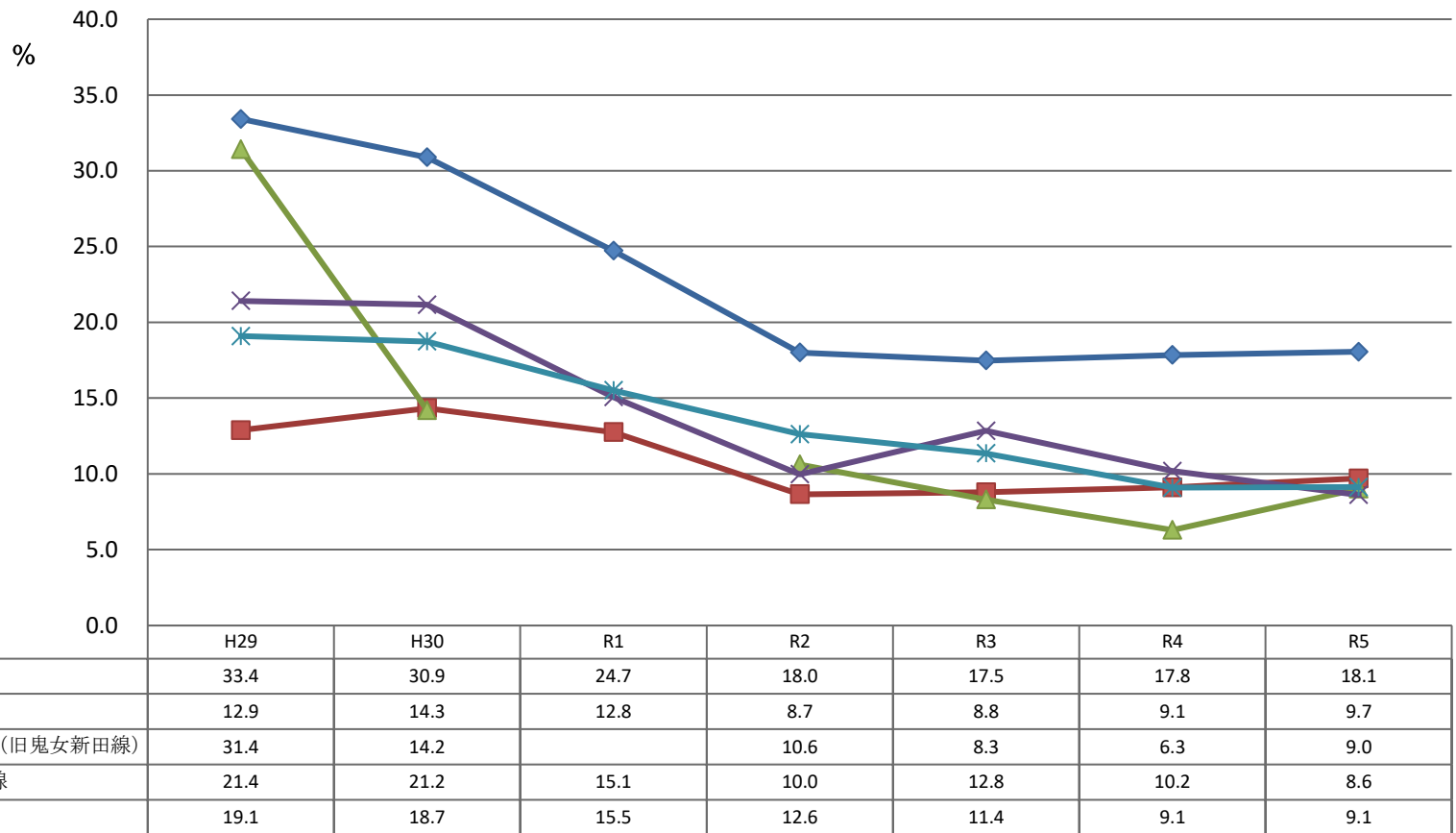


令和2年度に、新型コロナウイルス感染症の影響によって、令和元年度に比べて利用者が大幅に減少し、運賃収入も減少したがその後は増えたり減ったりしており、ほとんど変わらない状況である。

平均乗車密度(OD調査結果)



収支率



令和3年度は前年度比横ばい傾向にある。
JR路線へ接続している路線は上昇傾向にある。

バス路線の方向性

【国庫補助路線】

藤枝相良線、島田静波線はJR駅へ結ぶ重要な路線のため、関係市町と連携し路線を維持する。（令和2年度から、国補助対象外経費も協調補助）

【自主運行バス】

- ・都市計画マスタープラン、公共交通計画にある「富士山型ネットワーク構造」を形成するために、新たな路線の運行や効率的な路線維持に向けた検討を行う。
- ・新たな路線については、勝間田線・萩間線を牧之原IC周辺の高台開発地への乗入れや、西部方面や富士山静岡空港へ結ぶ路線を検討する。
- ・高校生の通学における利便性向上のため、相良浜岡線や相良御前崎線の榛原地区への延伸を検討する。
- ・路線の新規性や柔軟性、経費抑制のため、運行形態を関係市と検討する。

■デマンド乗合タクシー

【運行している路線】

- **さかべ号** (令和2年4月から本運行、平成29年10月から試験運行)
- **かつまた・まきのはら号**
(令和3年4月から本運行、平成30年10月から試験運行)
 - ※令和6年4月から、かつまた号とまきのはら号を統合
 - ・かつまた号 (令和3年4月から本運行)
 - ・まきのはら号 (令和3年4月から自家用有償運行)
- **すげやま・はぎま号** (令和4年4月から本運行)
 - ※令和3年4月から、すげやま号とはぎま号を統合
 - ・すげやま号 (平成31年2月から試験運行)
 - ・はぎま号 (令和2年2月から試験運行)
- **じとうがた号** (令和6年4月から本運行)

■デマンド乗合タクシー

【現在試験運行中の路線】

- さがらひがし号 (令和4年12月より試験運行)
- さがらにし号 (令和4年12月から試験運行)
- しずなみ・かわさき号 (令和4年11月から試験運行)
- ほそえ号 (令和4年11月から試験運行)

基本的な運行内容

【利用可能者】

- 75歳以上の者
- 自動車運転免許非保有者
- 障がい者
- 要介護、要支援認定者
- 妊婦
- 市長が認めた者(一時負傷者等)

【運行頻度】

- 週2～3日、日8便

【特定施設】

- 基本的には、市内の病院、スーパー、公共施設、金融機関
※必要と認める場合は、病院のみ市外も指定(さかべ号…吉田町6病院を指定)
(じとうがた号…御前崎市5病院・1商業施設を指定)

【運賃】

- 概ねタクシー料金の1/4(バス料金を考慮)
- お試し乗車券、10回利用割引あり

R6.3.31現在	登録者数
さかべ号	95名
かつまた号	125名
すげやま・はぎま号	178名
まきのはら号	110名
じとうがた号	136名
しずなみ・かわさき号	159名
ほそえ号	105名
さがらひがし号	100名
さがらにし号	86名

運行状況(運行開始から令和6年3月まで)

■利用状況

名称	運行月数	累計					月平均	
	(月)	運行便数	稼働率	利用者数	実利用者数	乗合率(人/車)	運行便数	利用者数
さかべ号	78	1833	31.2%	2450	43	1.34	23.50	31.41
かつまた号	66	1484	20.7%	1917	22	1.29	22.48	29.05
すげやま・はぎま号	62	1508	50.7%	2451	37	1.63	41.89	68.08
じとうがた号	36	736	22.0%	973	23	1.32	19.33	25.30
まきのほら号	36	579	13.0%	958	19	1.65	16.08	26.61
しずなみ・かわさき号	17	827	29.9%	935	57	1.13	48.65	55.00
ほそえ号	17	223	11.0%	243	19	1.09	13.12	14.29
さがらひがし号	16	385	19.3%	451	33	1.17	24.06	28.19
さがらにし号	16	192	10.1%	233	32	1.21	12.00	14.56

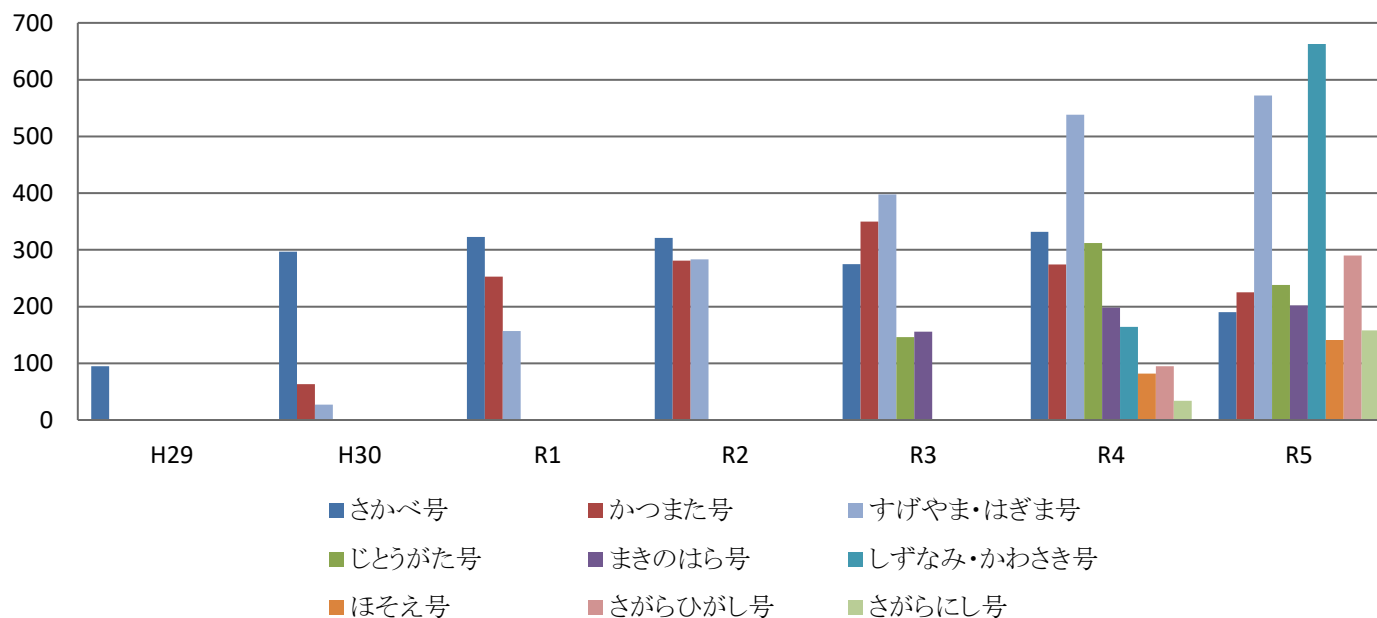
■収支状況

名称	累計				月平均		
	運行経費 (円)	運賃収入 (円)	市負担額 (円)	収支率	運行経費 (円)	運賃収入(円)	市負担額(円)
さかべ号	4,041,590	1,098,250	2,943,340	27.2%	51,815	12,769	37,735
かつまた号	3,319,310	858,000	2,461,310	25.8%	50,293	13,000	37,293
すげやま・はぎま号	3,177,440	888,800	2,288,640	30.7%	88,262	24,689	63,573
じとうがた号	1,725,810	348,750	1,377,060	21.7%	47,939	9,688	38,252
まきのはら号	937,209	411,750	525,459	43.9%	26,034	11,438	14,596
しずなみ・かわさき号	1,187,930	236,500	951,430	19.9%	69,878	13,912	55,966
ほそえ号	326,580	63,500	263,080	19.4%	19,211	3,735	15,475
さがらひがし号	609,180	119,600	489,580	19.6%	38,074	7,475	30,599
さがらにし号	302,300	49,750	252,550	16.5%	18,894	3,109	15,784

運行回数

(回)

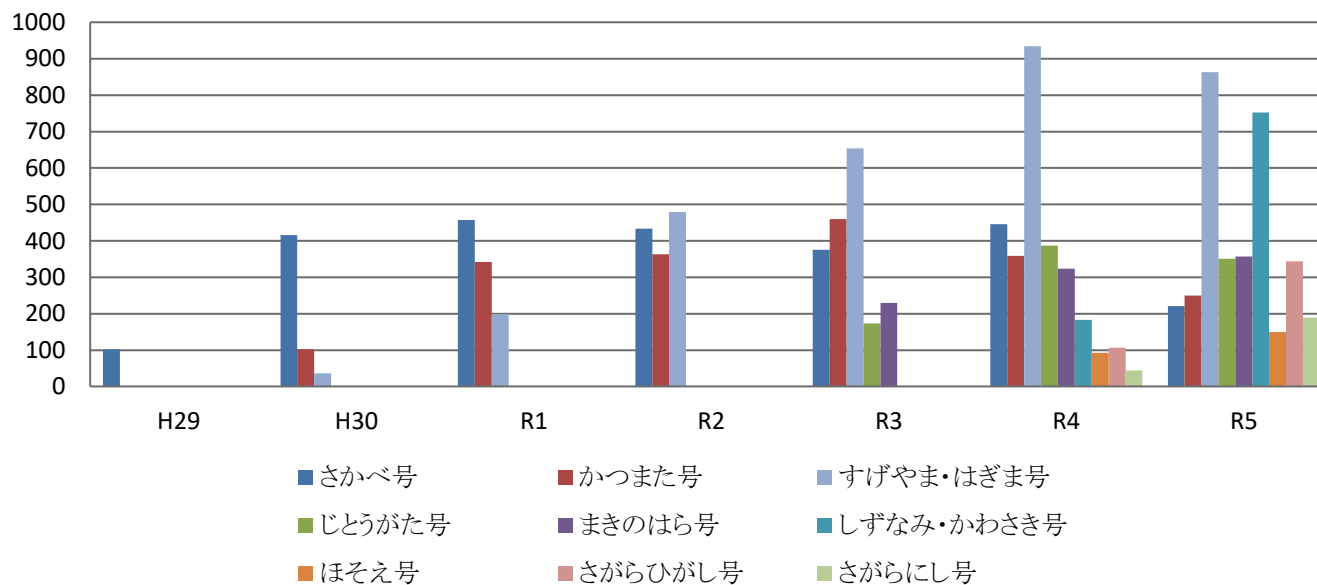
名称	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
さかべ号	95	297	323	321	275	332	190
かつまた号		63	253	281	350	274	225
すげやま・はぎま号		27	157	283	398	538	572
じとうがた号					146	312	238
まきのはら号					156	198	202
しずなみ・かわさき号						164	663
ほそえ号						82	141
さがらひがし号						95	290
さがらにし号						34	158



利用者推移

(人)

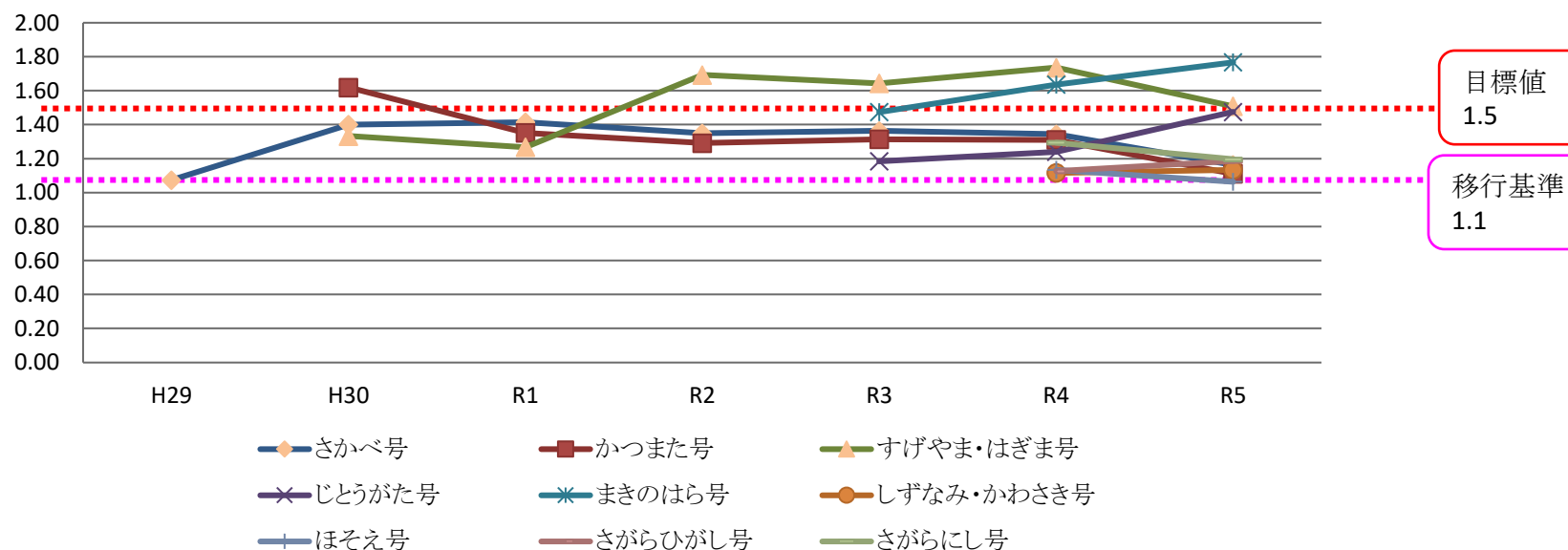
名称	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
さかべ号	102	416	457	433	375	446	221
かつまた号		102	342	363	460	359	250
すげやま・はぎま号		36	199	479	654	934	863
じとうがた号					173	387	351
まきのほら号					230	324	357
しずなみ・かわさき号						183	752
ほそえ号						93	150
さがらひがし号						107	344
さがらにし号						44	189



乗合率

(人/便)

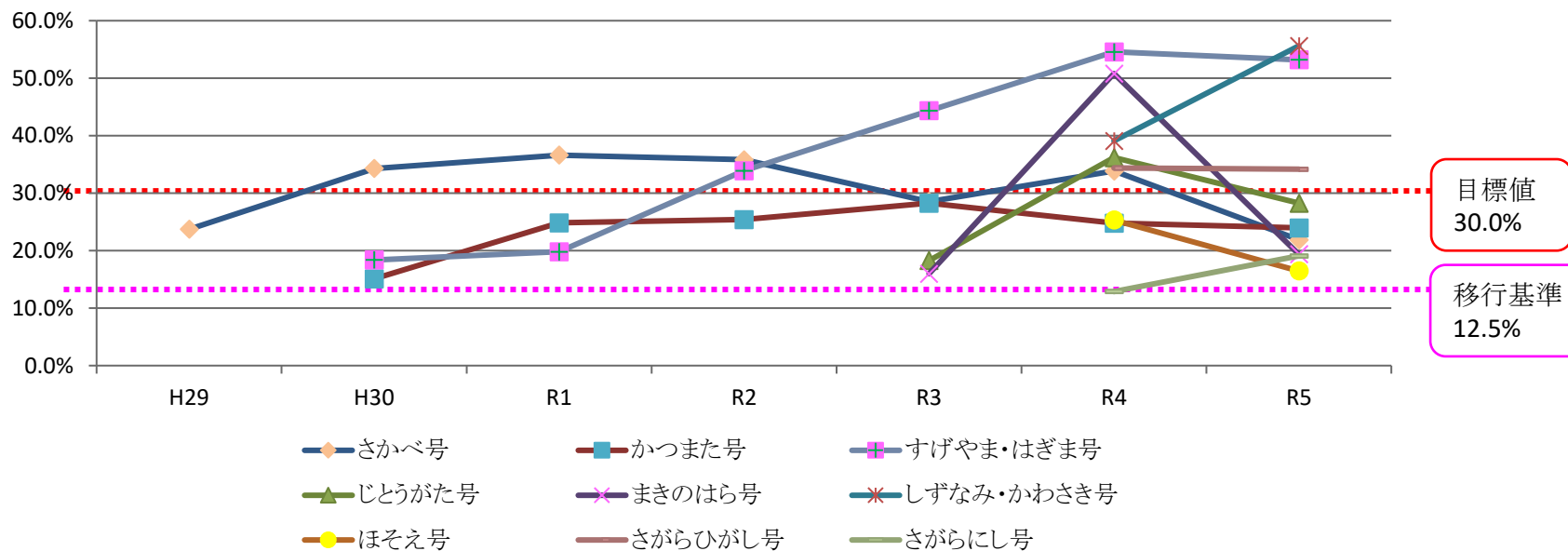
名称	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
さかべ号	1.07	1.40	1.41	1.35	1.36	1.34	1.16
かつまた号		1.62	1.35	1.29	1.31	1.31	1.11
すげやま・はぎま号		1.33	1.27	1.69	1.64	1.74	1.51
じとうがた号					1.18	1.24	1.47
まきのはら号					1.47	1.64	1.77
しずなみ・かわさき号						1.12	1.13
ほそえ号						1.13	1.06
さがらひがし号						1.13	1.19
さがらにし号						1.29	1.20



稼働率

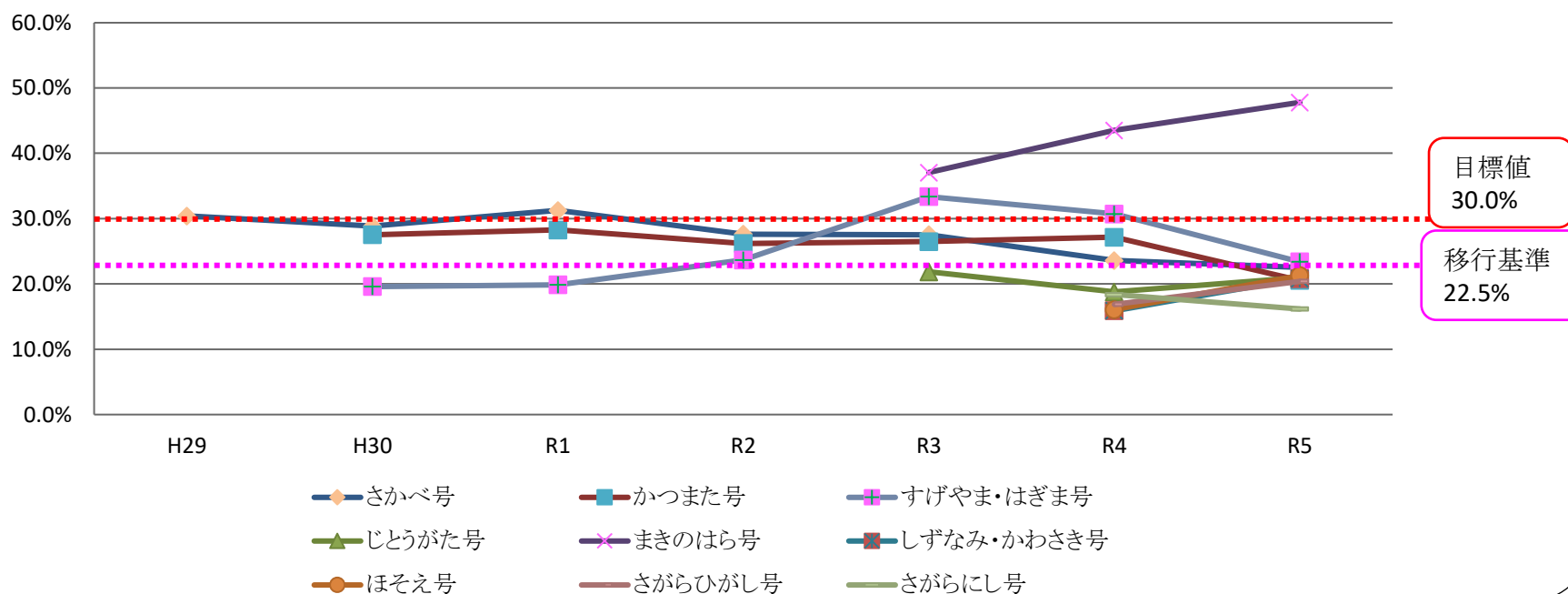
(%)

名称	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
さかべ号	23.7%	34.3%	36.6%	35.8%	28.5%	33.9%	21.9%
かつまた号		15.1%	24.8%	25.4%	28.3%	24.8%	24.0%
すげやま・はぎま号		18.4%	19.8%	33.9%	44.3%	54.5%	53.2%
じとうがた号					18.3%	36.2%	28.3%
まきのはら号					16.0%	50.8%	19.4%
しずなみ・かわさき号						39.1%	55.6%
ほそえ号						25.3%	16.5%
さがらひがし号						34.4%	34.1%
さがらにし号						12.9%	19.1%



収支率

名称	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
さかべ号	30.4%	28.9%	31.3%	27.6%	27.5%	23.6%	22.5%
かつまた号		27.5%	28.3%	26.2%	26.5%	27.1%	20.5%
すげやま・はぎま号		19.6%	19.9%	23.7%	33.4%	30.7%	23.4%
じとうがた号					21.8%	18.8%	21.0%
まきのほら号					37.0%	43.5%	47.8%
しずなみ・かわさき号						15.9%	20.8%
ほそえ号						16.1%	21.3%
さがらひがし号						16.9%	20.4%
さがらにし号						18.4%	16.2%



事業評価

目標達成状況、アンケートの結果を検証し、試験運行期間終了3カ月前時点で、直近3カ月の利用状況で事業評価を行う。

主な指標		達成目標	本格運行移行基準
利用状況	登録者数	運行地域の75歳以上の1/3以上	なし
	利用者数	3.6人/日以上	1.1人/日以上
	稼働率	30%以上	12.5%以上
	乗合率	1.5人/便以上	1.1人/便以上
費用効率	収支率	30%以上	22.5%以上
	1人当たり経費	1,460円以下	2,000円以下
	市負担額	1,520円/便以下	1,700円/便以下

	達成目標	本格運行移行基準
登録者数	運行地域の75歳以上の1/3以上	交通弱者対策のため、登録者数は考慮しない。
実績運行回数※ (計画運行回数×利用率)	8便/日×30%=2.4便	8便/日×12.5%=1.0便
利用者数 (実績運行回数×平均乗車人数)	2.4便×1.5人/便=3.6人/日	1.0便×1.1人/便=1.1人/日
稼働率 (実績運行回数/計画運行回数)	30% 国補助金交付要件	12.5%
乗合率 (利用者数/総実績運行回数※)	1.5人 県内デマンド運行平均	1.1人 県補助金交付要件
収支率 (運賃収入/運行経費)	(500円×1.5人×0.9※)/2,200円=30%	(500円×1.1人×0.9※)/2,200円=22.5%
1人当たり経費 (運行経費※/利用者数)	2,200円/1.5人=1,466円	2,200円/1.1人=2,000円
市負担額 (運行経費－運賃収入)	2,200円-675円=1,525円/便	2,200円-495円=1,705円/便

※実績運行回数:複数配車でも1とした実績運行回数

※総実績運行回数:総ての運行した回数(複数配車の総数)

※0.9:お試し乗車券、無料券の配布による運賃収入の減少による。

※運行経費:総実績運行回数の経費

デマンド乗合タクシーの方向性

①さかべ号

平成29年10月から試験運行開始
令和2年4月から本格運行開始
令和6年4月よりサロン運行開始

特殊事情
・吉田町病院6施設

②かつまた・まきのはら号

平成30年10月から試験運行開始
令和3年4月から本格運行開始
令和6年4月からかつまた号・まきのはら号統合

特殊事情
週3便へ増便(令和6年4月)

③すげやま・はぎま号

すげやま号:平成31年2月から試験運行開始
はぎま号:令和2年2月から試験運行開始
令和3年4月からすげやま号・はぎま号統合
令和4年4月から本格運行開始

特殊事情
週3便へ増便(令和6年4月)

⑤じとうがた号

令和3年4月から試験運行開始
令和6年4月から本格運行開始

令和4年4月から御前崎市病院5施設範囲拡大

⑦さがらにし号・さがらひがし号

令和4年12月に試験運行開始

特定施設間移動が可能
週3便へ増便(令和6年4月)

⑧しずなみ・かわさき号・ほそえ号

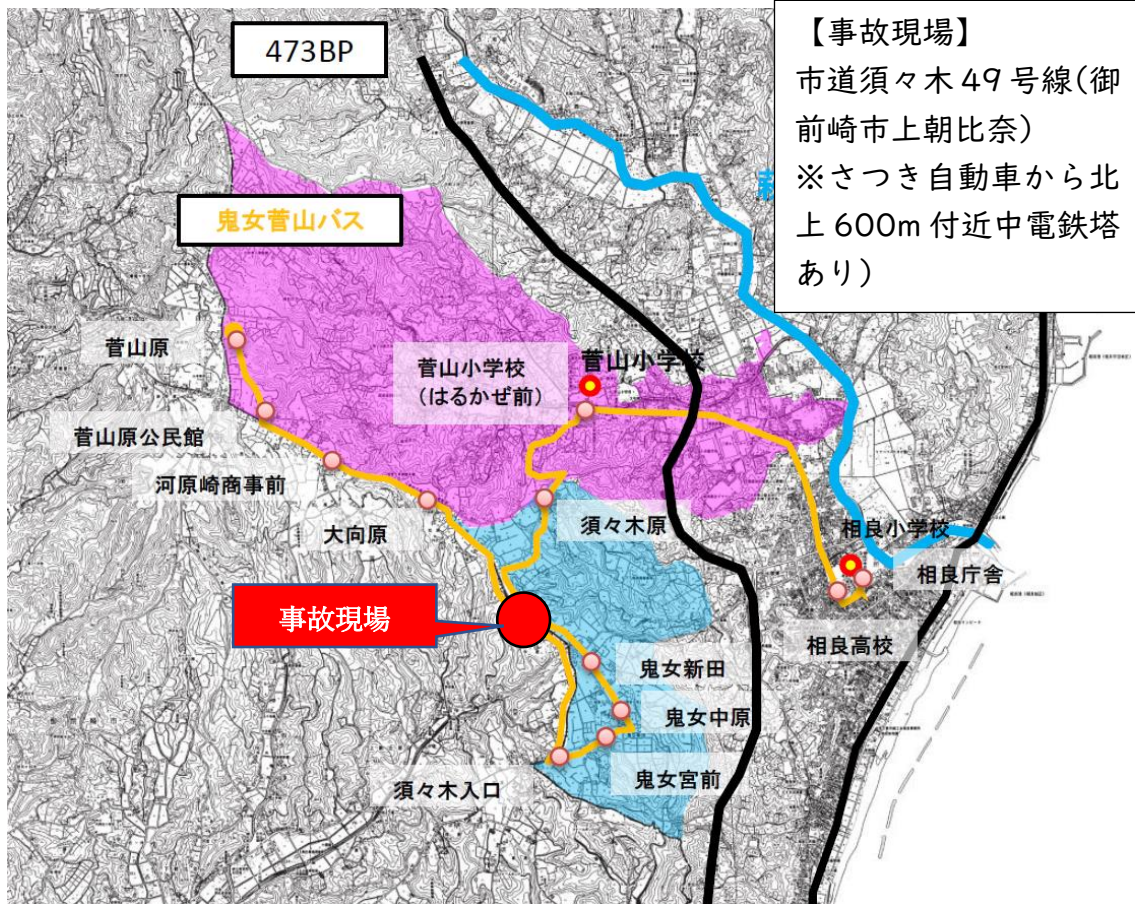
令和4年11月に試験運行開始

特定施設間移動が可能
週3便へ増便(令和6年4月)

令和6年4月11日 発生 市営バス鬼女・菅山線事故対応

企画政策部地域振興課

【事故現場】



【事故の状況】

- ・単独事故
道路脇の茶畑に侵入
- ・乗車人数
相良小学校児童 5 人
(6 年 3 人(男 1・女 2)
3 年 2 人(男 1・女 1))

【怪我の状況】

- ・ 6年生女児2人が榛原病院で受診、その後、帰宅。うち1人が後日再受診。
- ・ 3年生男児1人は、事故後、一旦帰宅し12日に受診。



【１ 事故の原因】

■運行事業者事故報告書

走行中に時刻表に気を取られてしまい、お茶畑に突っ込んでしまった。

■警察の見解

わき見運転による物損扱いで捜査終了

【２ 事故の問題点と再発防止策】

	事象	内容	再発防止策
運行事業者	① 警察、救急車の要請の遅れ	事故後、約１時間後に警察へ電話しており、警察は１時間半後に現場に到着した。 どのような事故でも警察へ連絡するべきであったが、運転手と会社で行き違いがあり、連絡が遅れた。	警察や救急への連絡は迅速に行うよう緊急時対応の見直しや社員教育を徹底する
	② 運転操作ミス	乗客がいる中での運行中の事故であり、細心の注意を払って運転しなければならなかった。	安全運転者講習の定期的な実施を徹底する
牧之原市	③ 緊急時連絡体制	事故等の緊急時の連絡について、保護者や学校への連絡体制整備が不十分であったこと、児童がすでに帰宅していたことから安心してしまい、連絡が遅れた。	緊急時連絡体制の再確認と事故様式整備
	④ ドライブレコーダーの管理	事故時の映像が録画されていなかった。 また、装備品は車外を映すカメラで音声なしであったため、車内の様子を把握することができなかった。	ドライブレコーダーの適正管理と車内カメラの設置

【３ その他、安全運行に関する市の実施事業】

- ・救急セットの車内常備
- ・AEDの車内常備
- ・運転手の健康状態把握のため、健康診断結果の写しの提出（受領済み）
- ・措置要請書の作成（市から事業者に対する要請書）

牧之原市地域公共交通計画登載 事業の方向性と課題について

令和6年7月作成

牧之原市 企画政策部 地域振興課

令和5年度以降の事業計画

牧之原市地域公共交通計画の推進（計画期間R5～R8の4年間）

方 針	目 標	事 業
基本方針1： 富士山型ネットワーク構造の形成に資する地域公共交通ネットワークの構築	①バス利用者数・・・令和元年度に回復 ②バス収支率・・・令和元年度に回復 ③バス公的負担額・・・令和元年度まで抑制	1：沿岸部の路線の維持・再編（幹線軸（裾野部））
		2：市街地と高台エリアを結ぶ路線の再編（幹線軸（斜面部））
		3：富士山型山頂部からの路線の創出（広域交流拠点連携軸（山頂部））
基本方針2： 地域公共交通の利便向上、利用促進策の推進	④利用者数・・・令和3年度より増加 ⑤乗合率・・・令和3年度より向上 ⑥会員登録者率・・・令和4年より向上 ⑦利用者満足度・・・令和4年度より向上 ⑧取組件数・・・令和3年度より増加	4：高齢者等の移動手段の提供
		5：拠点バス停の環境整備の推進
		6：誰もが利用しやすいサービスの提供
基本方針3： 持続可能な運行を支える他分野との連携した取組と体制強化	⑨市民満足度・・・令和4年度より向上	7：モビリティマネジメントの推進
		8：観光施策と連携した取組の推進
		9：移住定住、子育て支援につながる取組の推進
		10：自動運転技術などのDX化やICTを活用した取組の推進
		11：市民意見を尊重する協議体制と関係者の連携強化

牧之原市地域公共交通計画

基本方針 1
富士山型ネットワーク構造の形成に資する
地域公共交通ネットワークの構築

事業 1：沿岸部の路線の維持・再編（幹線軸（裾野部））

① 榛原総合病院への乗り入れ便数の増便

医療従事者の負担軽減や通院者の利便向上を理由に榛原総合病院からも要望あり。

令和6年3月に開通した静波1号幹線を利用する経路とすると、スムーズな病院乗り入れが可能であるため、経路変更や増便が可能かを協議していく。

現在の乗り入れ状況

方面・運行時間帯	便数	停車便
相良→静岡（8:42～15:35の時間に停車）	50	18
静岡→相良（8:42～16:21の時間に停車）	51	25
※土日祝は全便停車しない （相良→静岡：30便、静岡→相良：31便）		

② 地域間幹線系統の藤枝相良線、島田静波線の利便向上

高校生の利用が多い両路線に対して、通学利便の向上につながる取組（時刻調整など）を検討する。

③ 自主運行バス 相良御前崎線、相良浜岡線の経路変更

- ・令和6年4月運行から、減便、時刻を変更（約1,500万円の経費削減）
- ・相良総合センターい〜ら、ガスワンアリーナ、ミルキーウェイスクエアへの交通手段を確保するため、道路整備の進捗に合わせ経路変更を図る。（R9以降の変更）
- ・榛原高校生確保を目的とした路線延伸は保留したが、部活動終了後に使える便を設定した。



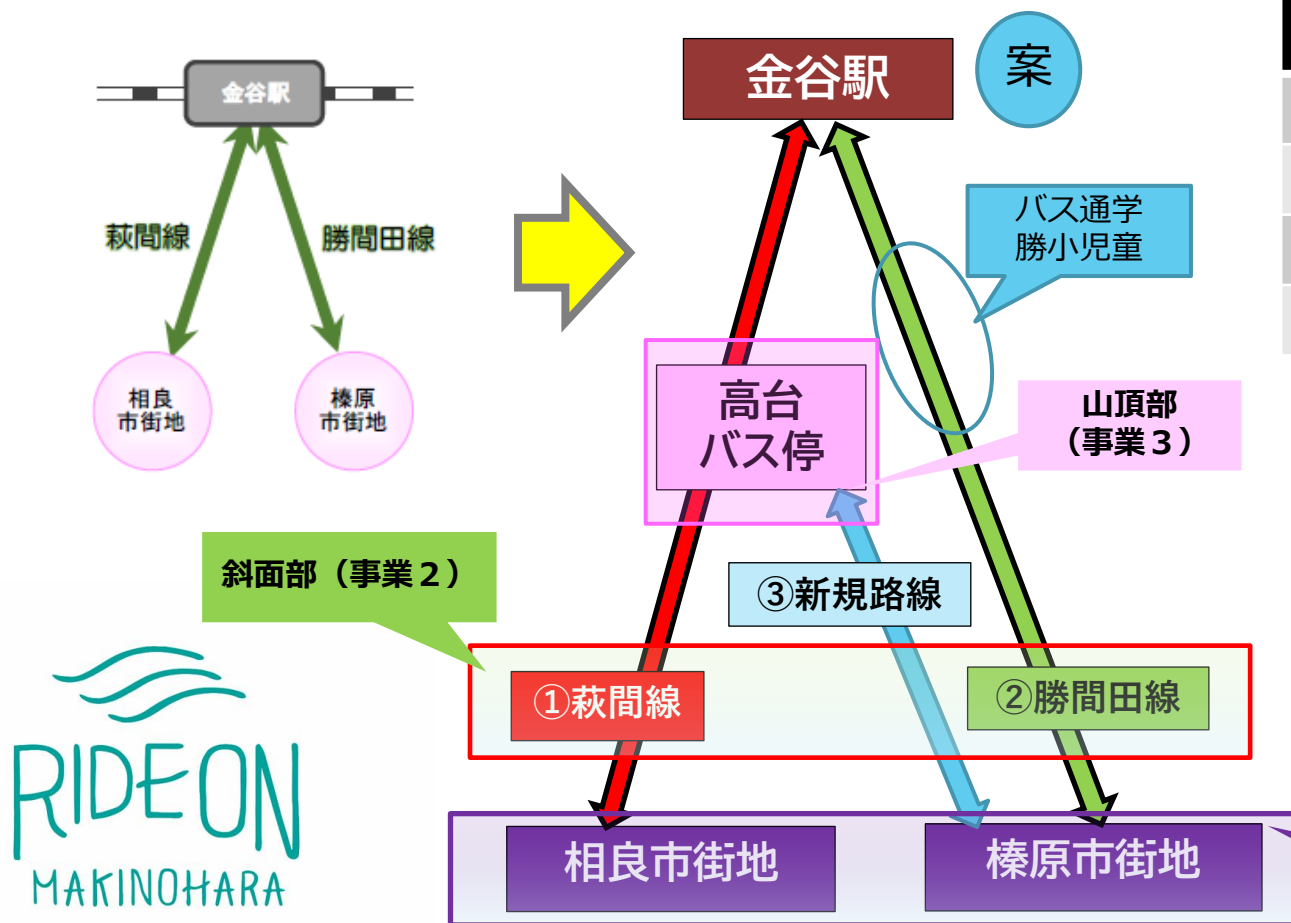
牧之原市地域公共交通計画

基本方針 1

富士山型ネットワーク構造の形成に資する
地域公共交通ネットワークの構築

事業2：市街地と高台エリアを結ぶ路線の再編（幹線軸（斜面部））

① 自主運行バス萩間線、勝間田線の高台エリアへの接続



年度	スケジュール
R6	高台エリアバス停の検討
R7	バス事業者・関係市、地元との調整
R8	周知、変更手続き
R9	高台商業施設開業、接続開始

（方向性）

- ① **萩間線**
- ② **勝間田線**
勝間田小児童の通学手段確保のため路線維持
- ③ **新規路線（案）**
榛原市街地と高台エリアを結ぶ路線

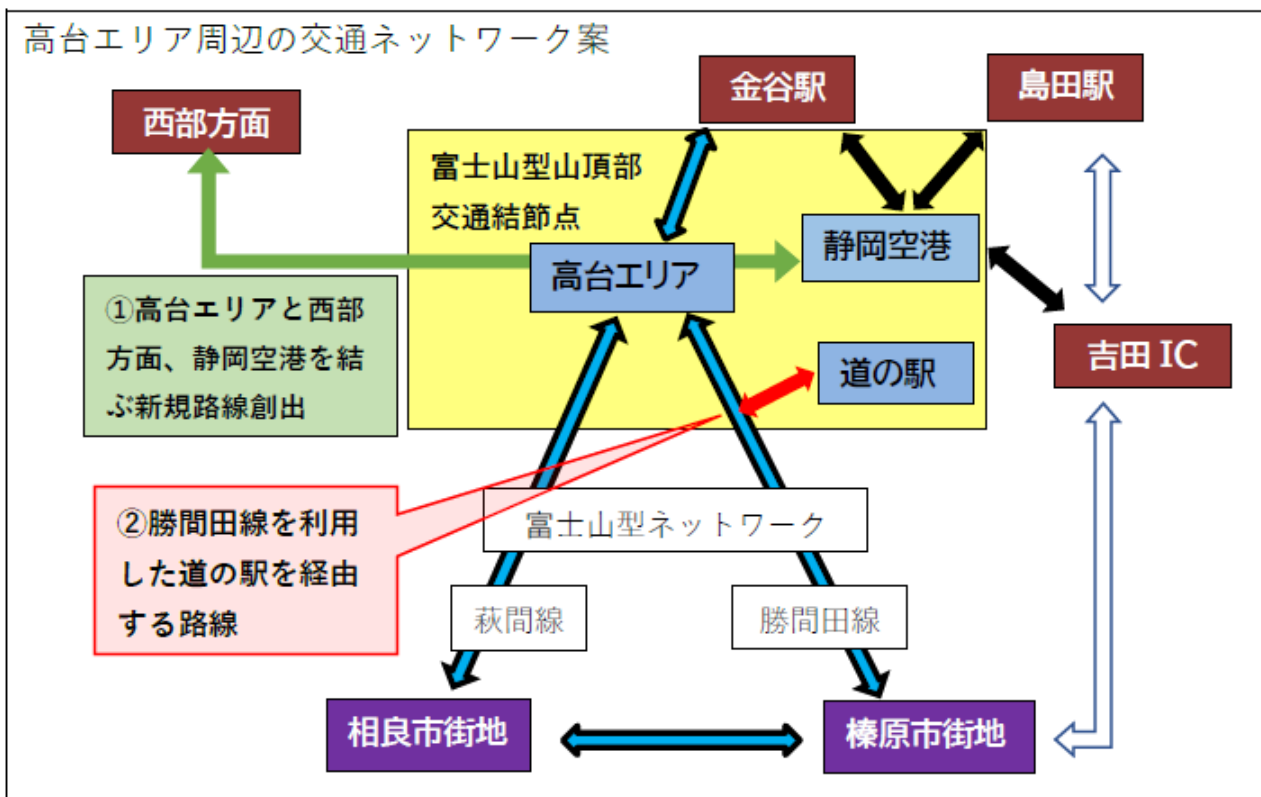
牧之原市地域公共交通計画

基本方針 1

富士山型ネットワーク構造の形成に資する 地域公共交通ネットワークの構築

事業3：富士山型山頂部からの路線の創出（広域交流拠点連携軸（山頂部））

① 高台エリアと西部方面や静岡空港を結ぶ路線の創出



年度	スケジュール
R6	課題の洗い出し、方向性の検討
R7	バス事業者・関係市、地元との調整
R8	周知、変更、準備手続き
R9	高台商業施設開業、運行開始

【西部方面や静岡空港への接続方法（案）】

- ① 企業送迎バス、空港アクセスバス、菊川市コミバス等の既存の輸送資源の活用
- ② ①でも不足する需要に対しては、新規路線を創出（特に西部方面）

牧之原市地域公共交通計画

事業4：高齢者等への移動手段の提供

基本方針2：
地域公共交通の利便向上、
利用促進策の推進

① デマンド乗合タクシーの運行、利便向上

R4に全域導入を完了。試験運行中の榛原、相良両市街地の本格運行への移行を控える。
本年4月から、一部地域で号の統合による週3日（R5まで週2日）運行を開始した。

【現在の取組状況】

- ① 高齢者サロンとの連携事業・・・坂部ふれあいサロン参加者のデマンド利用推進
⇒ 他地区のサロンからも利用相談あり

【今後の予定】

- ① 試験運行中の路線について、本格運行への移行を準備
・市街地デマンド・・・R7.4からの本格運行を予定

- ② 将来的な課題
・オンライン予約等のICT化の推進



牧之原市地域公共交通計画

事業5：拠点バス停の環境整備の推進

① 結節点となる高台バス停の整備

イメージ



・・・事業者と位置や待機場所について調整中

年度	スケジュール
R6	開発事業者との調整
R7	バス事業者との調整
R8	事業着手
R9	高台商業施設開業、運用開始

② その他の拠点バス停整備状況

年度	バス停	整備内容
R3	相良本通バス停（上り）	屋根付き待合所整備
R4	相良本通バス停近く	相良中央駐車場内の駐輪場整備
R5	（自主）相良本通バス停（下り）	待合ベンチ整備
R6（予定）	根松バス停（下り）	サイクルラック整備

基本方針2：
地域公共交通の利便向上、
利用促進策の推進



牧之原市地域公共交通計画

事業6：誰もが利用しやすいサービスの提供

基本方針2：
地域公共交通の利便向上、
利用促進策の推進

① 効果的な情報提供

- ・ 近隣の高校・大学等へのアクセスマップ
- ・ 企業や地域別にカスタマイズした情報提供

② 使いやすい時刻設定

- ・ 高校生の部活動終了後の運行の要望（R6.4から相良御前崎線で運用開始）
- ・ JR駅との接続改善の要望

③ 時代に対応した車両の導入（低床バス、UDタクシー、環境配慮型車両（EV、水素））

- ・ 交通事業者との協力により推進

事業7：モビリティマネジメントの推進

① 利用促進・・・高齢者サロンにおけるバス、タクシーの乗り方教室の開催

公共交通に親しむ機会の創出（産業フェア等とのイベント出展）

ハッピーライド事業（小学生の無料バスデー 資料6 参照）

② 環境施策との連携・・・企業や団体と連携した取組（エコ通勤、クルポなど）

牧之原市地域公共交通計画

事業8：観光施策と連携した取組の推進

① 公共交通で移動可能な観光モデルルートの設定

② 観光イベントとの連携

◆大河ドラマ「べらぼう」田沼意次候顕彰事業

・・・特急静岡相良線のラッピングバス（大河ドラマ活用推進室）

③ 静岡空港と市街地を結ぶ直通バスの実証運行

【将来的な構想】

静岡空港から市街地の直通路線の期間運行バスの実証運行

（例：海水浴期間中の観光シーズン）



【静波海岸の賑わい拠点】

- ・ 静波サーフスタジアム
- ・ スケボーパーク



基本方針3：

持続可能な運行を支える他分野との連携した取組と体制強化

R7は大河ドラマ放送、市制20周年、道の駅開業など、観光誘客機会が増える・・・

【観光＋自動運転車両の実証運行による誘客を計画】

案① 史料館周辺（大河ドラマ展への誘客）

案② 静岡空港と道の駅周辺（空港から市街地への誘客を見据えて）

年度	スケジュール
R6	事業計画
R7	自動運転実証運行、事業検証（予定）
R8	
R9～	直通バス実証運行（予定）

牧之原市地域公共交通計画

基本方針 3 :
持続可能な運行を支える他分野
との連携した取組と体制強化

事業 9 : 移住定住、子育て支援につながる取組の推進

【現在の取組状況】

① 高校生の通学支援

- ・ 路線バス通学定期券購入補助を開始（資料 5 参照）
- ・ 高校との意見交換（榛原高校とは年 1 回実施中）

【今後の予定】

② 移住定住施策との連携

- ・ 特急静岡相良線の利便性を
PRするチラシ作成

※通勤時間帯の便数は東海道
線と同じ便数で非常に便利

バスで、通おう

牧之原市に住む、路線バスで通学する
高校生等の定期券代を最大3万円補助します！

申請に必要なもの

- ① 高等学校等に在籍していることを証明する書類の写し（学生証等）
- ② 使用する通学定期券の控え券紙の写し

申請のポイント

- Point 1 牧之原市に住む高校生等が対象。市内高校なら最大3万円、市外高校でも最大1万5千円を補助します。
- Point 2 有償内に生徒1人につき5万円以上の定期券を購入すれば補助の対象です。（補助の異なる複数の定期券の合計可）
- Point 3 市内を運行する路線バスが対象です。（詳細は裏面に記載してください。）
- Point 4 兄弟等が1人以上複数の申請が可能です。

詳しくはQRコードもしくは検索からご確認ください。

牧之原市 定期券補助 検索

	特急静岡相良線 (平日) (静岡方面行)	JR 東海道線 (平日)
5時	3 便	2 便
6時	8 便	5 便
7時	5 便	9 便
合計	16便	16便



牧之原市地域公共交通計画

基本方針 3：
持続可能な運行を支える他分野との
連携した取組と体制強化

事業10：自動運転技術などのDX化やICTを活用した取組の推進

① 自動運転車両の調査研究

事業 8 との連携で推進

② 交通分野のデジタル化

【現在の取組状況】

- ・ デマンド乗合タクシーの会員登録、鬼女菅山線の定期券申込、路線バス通学定期券のオンライン申請
- ・ デマンド乗合タクシーの使い方動画の作成

事業11：市民意見を尊重する協議体制と関係者の連携強化

① 関係者との意見交換（高校、福祉系団体、企業、地域・・・）

② 交通事業者との連携

- ・ 運転手確保：広報まきのほら 7 月号特集記事で 3 事業者の運転手募集を掲載

その他、公共交通に関連する事項

立地適正化計画

策定期間

令和5年度～令和7年度（3年間）

方針

富士山型ネットワーク構造によるまちづくりを想定した都市機能誘導区域、居住誘導区域の設定

学校再編計画

榛原地域

- ・ 小学校 4 校
- ・ 中学校 1 校



義務教育学校
（開校予定）
令和12年度頃

相良地域

- ・ 小学校 4 校
- ・ 中学校 1 校



義務教育学校
（開校予定）
令和15年度頃

高校生等を対象とした路線バス通学定期券購入費補助金について

(企画政策部地域振興課)

1 目的

近年の路線バス維持に対する市の負担額は、利用者数の減少による運賃収入の減及び 2024 年問題による運転手不足を背景とした経費高騰による収支の悪化を原因として、大幅に上昇している。

日常的に利用する高校生等のバス利用促進を図ることで、収支改善や安定的な路線バスの維持に繋げることを目的に、通学定期券の購入補助を今年度から初めて実施する。

なお、高校生等に対する路線バスの通学定期券の購入費補助は、中部地域では初の取組となる。

2 対象の路線バス 牧之原市内を運行する路線バス

バス事業者路線	特急静岡相良線、藤枝相良線、島田静波線
自主運行路線	萩間線、勝間田線、相良御前崎線、相良浜岡線

3 補助の対象

- ア 高等学校等に在籍中で市内に住所を有する生徒の保護者等
- イ 申請年度の 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの間を有効期間とし、かつ、年度を通じた購入金額が、生徒一人に対し 5 万円以上となる通学定期券を購入する保護者等
- ウ 世帯員の全員が納付すべき市税等を滞納していない世帯

4 補助率

市内高校の生徒確保を目的に、市内高校の補助上限額を高く設定した。

在籍先	補助率	補助上限額
相良高校、榛原高校	購入金額の 2 分の 1	3 万円
市外の高等学校等		1 万 5 千円

市内高校へバス通学する場合のモデルケース（6 ヶ月定期）

高校	バス停区間	平日定期代 51,300 円	通常定期代 69,980 円	路線
相良高校	静波海岸入口	補助額：25,000 円	補助額 30,000 円	特急静岡
榛原高校	⇄ 相良本通	実負担 26,300 円	実負担 39,980 円	相良線

5 申請

- ・ 7 月 1 日から申請受付開始
(スマートフォン等からのオンライン申請が可能)
- ・ 申請には在学を証明するもの（学生証等）と定期控え券紙が必要



(参考1) 市内2校の通学定期の金額

高校	出発	到着	通学定期 (円) 6ヶ月		路線
			ウィークデー定期 (平日のみ)	通常定期	
榛原高校	相良営業所	静波海岸入口	59,890	81,650	特急静岡相良線
相良高校	根松	相良本通	66,530	90,720	特急静岡相良線
相良高校	堀野新田	相良本通	54,160	73,870	相良浜岡線

(参考2) JR 駅まで利用して通学する場合の通学定期の金額

高校	出発	到着	通学定期 (円) 6ヶ月		路線
			ウィークデー定期 (平日のみ)	通常定期	
金谷駅	相良本通	金谷駅前	91,620	124,420	(自主) 萩間線
藤枝駅	相良営業所	藤枝駅南口	99,310	135,430	藤枝相良線
島田駅	静波海岸入口	島田駅前	89,800	122,470	島田静波線
静岡駅	相良本通	静岡駅前	112,160	152,930	特急静岡相良線

※いずれも現時点での金額

バスで、通おう

牧之原市に住む、路線バスで通学する 高校生等の定期券代を最大3万円補助します！

申請に必要なもの

- ①高等学校等に在籍していることを証明する書類の写し（学生証等）
- ②使用する通学定期券の控え券紙の写し

しずてつジャストライン(株)の窓口で
もらえる右の
控えが必要になります。



詳しくはQRコードもしくは検索からご確認ください。

申請のポイント

Point
1

牧之原市に住む高校生等が対象
市内高校なら最大3万円、市外高校でも
最大1万5千円を補助します。

Point
2

年度内に生徒1人につき5万円以上の定期券
を購入すれば補助の対象です。
(時期の異なる複数の定期券の合算可)

Point
3

市内を運行する路線バスが対象です。
(詳細は裏面をご確認ください。)

Point
4

兄弟等がいれば人数分の申請が可能です。



牧之原市 定期券補助

検索

牧之原市路線バス通学定期券購入費補助金 高校生等の通学費用を一部補助します。

7月1日受付開始予定

補助の対象

次に掲げる要件全てを満たしている者

- ア 高等学校等に在籍中で市内に住所を有する生徒の保護者等
- イ 申請年度の4月1日から翌年3月31日までの間を有効期間とし、かつ、年度を通じた購入金額が、生徒一人に対し5万円以上となる通学定期券を購入した保護者等
- ウ 世帯員の全員が納付すべき市税等を滞納していない世帯

対象となる路線

〇しずてつジャストライン(株)が運行する路線バス
特急静岡相良線、藤枝相良線、島田静波線
萩間線、勝間田線、相良御前崎線、相良浜岡線



補助率、上限について

- 〇補助率：購入金額の1/2
- 〇補助上限額：下記のとおり

在籍先	補助上限額
静岡県立相良高等学校 静岡県立榛原高等学校	3万円
市外の高等学校等	1万5千円

〇高等学校等とは…

高等学校や中等教育学校の後期課程、特別支援学校高等部、高等専門学校等、専修学校及び各種学校のうち高等学校の課程に類する課程を置くものとして文部科学省令で定めるもの



←申請フォームはこちら
(LoGoフォーム)

申請について

詳細については牧之原市ホームページをご確認ください。
申請はオンラインもしくは【榛原庁舎5階 地域振興課】にて受け付けております。

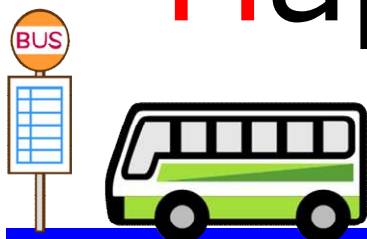
問合せ先

〒421-0495 静波447番地1 牧之原市役所榛原庁舎5階 企画政策部地域振興課
TEL：23-0053 FAX：23-0059 Mail：kotsu@city.makinohara.lg.jp

バスに乗って、出かけよう。



Happy Ride in Shizuoka Project



～小学生バス無料デーの実施～

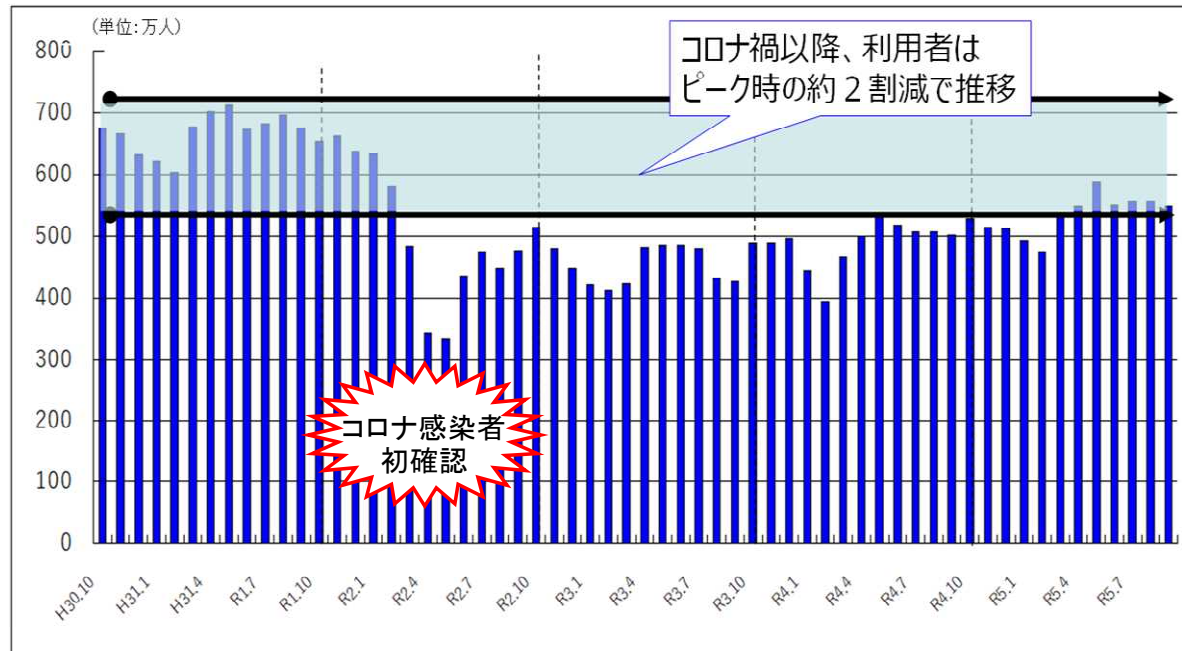
ハッピーライドin静岡プロジェクト実行委員会
(事務局：静岡県バス協会、県地域交通課)



背景

✓コロナ禍が拍車をかけた乗合バスの乗車人員の減少

✓運転手のなり手の不足、高齢化による更なる運転手不足への危機感



(静岡県地域交通課調査)

(一社) 地域公共交通総合研究所がR5.11に全国のバス事業者を対象に実施したアンケート回答者のうち、

全仕業に対して、**99%が運転手不足**と回答

運転手不足への対策として**回答事業者の半数が「減便」、約3割が「路線廃止」を計画**

バス事業者「運転手不足」99%

バス運転手不足の対策
(複数回答)

減便 47%

路線廃止 34

競合会社との運行効率化 13

その他 43

無回答 10

※地域公共交通総合研究所の調査報告書による

地域公共交通総合研究所(地公研、岡山市)が全国のバス事業者を対象に運転手不足に関するアンケートを実施し、応じた事業者の99%が「不足」と回答した。多くが対策として減便や路線廃止を検討している。地域交通サービスの水準低下や消滅が懸念される実態が鮮明になった。金剛自動車(大阪府富田林市)は、今月、運転手不足と利用者減少を理由にバス事業を廃止している。

調査は11月、全国308のバス事業者を対象に書面で実施。68社から回答を得た。運転手の残業上限を年960時間にするなどの規制が2024年4月から適用されるのを前に、現状を探った。

運転手が不足していると答えた67社のうち、不足数は10人未満が最多で46%。30人以上は16%に上った。雇用促進の取り組みを続けている事業者は47%。路線廃止が34%だった。廃止の計画数は大半が40路線以下だったが、「40路線規模」の事業者もあったという。

残業規制適用を延期すべき

地公研調査「減便・路線廃止を検討」多数

か問うと、回答した58社の賛否はほぼ半々に割れた。ただし、いずれも運転手不足への不安感がうかがえる。地公研は、少なくとも新型コロナウイルス禍で失った期間と同じ3年間、運転手不足の解決に向けては、他産業より低い待遇の改善が必須だと指摘する。路線再編や車両の小型化などの経営努力を続けながら、①運賃の引き上げ②国や自治体から補助金を受け取る③乗客の待客改善がサステナブル(持続可能な公共交通維持の前提)なことも強調した。

小嶋光信代表理事(岡崎グループ代表兼最高経営責任者)は記者会見で「交通の崩壊が地域崩壊につながる危険水域に入った。2024年問題で賃金がダウンすれば雪崩現象になる」と説明。運転手の待遇改善がサステナブル(持続可能な公共交通維持の前提)なことも強調した。

2024.1.5静岡新聞

目的

- 小学生を中心とした地域住民のバス利用の促進
- 地域の足を支える運転従事者に「感謝とリスペクト」する
気持ちを育み、将来にわたり社会全体で地域公共交通を支える意識を醸成
- 皆でバスに乗り合うことによる環境負荷の低減



実施概要(案)

概要

小学生のバス利用を促進し、バス利用者の増加につなげるため、

県内全ての小学生を対象にバス無料デーを実施する。

(全県規模の実施としては前例のない取組)

項目	内容
対象者	県内の全小学校 524校 約178,000名 (国公立・私立小学校、特別支援学校含む)
実施予定日	令和6年12月7日(土)～8日(日) 2日間
対象路線	県内乗合バス事業者路線(貸切、観光バスを除く) 市町自主バス路線(実施可能な市町)
主催	ハッピーライドin静岡プロジェクト実行委員会(令和6年4月24日設置) 構成員: 国、県、市町、(一社)静岡県バス協会、乗合バス事業者 事務局: 静岡県バス協会、県地域交通課
オブザーバー	静岡鉄道株式会社、静岡県地球温暖化防止活動推進センター

【参考】費用と経済効果

※2023年11月にしずてつジャストラインが静岡市で実施したフリー乗車券の発行・配布した実績をもとに記載

項目	内容	詳細
費用	1,069,020円	(内訳) ・乗車券印刷代 537,600円 ・チラシ印刷代 (郵送料含む) 466,000円 ・乗車券郵送代 65,420円
効果	1,236,552円	フリー乗車券利用者の同伴者（大人）利用者数 ×定期外平均単価201円×往復として算出

静岡市内	
学校数	95校
児童数	31,751名



実施概要(スケジュール)

月日	内容
4月24日	ハッピーライドin静岡プロジェクト実行委員会の設立
5月中旬～	各学校に小学生バス無料デーの実施通知、校長会等での説明（県）
5月下旬～	市町地域交通会議等での説明（県）、運賃協議会での承認（市町）
6月～	実施路線の特定、特設サイトの開設、沿線の公的施設等への協力依頼
10～11月	各学校経由で小学生に無料デー啓発チラシ（兼フリーチケット）を発送 各種広報、啓発イベント等の実施、プレスリリース（11月中旬頃を予定）
12月7～8日	小学生バス無料デーの実施
～1月下旬	利用者アンケート等のとりまとめ（効果検証）



自主運行バスの運賃改定について

(企画政策部 地域振興課)

1 経緯

しずてつジャストライン株式会社（以下、事業者）では、コロナ禍での利用者減少や燃料費の高騰、深刻化する運転士不足を解消するための人件費の増加等を理由に、一般路線バスの運賃値上げを国土交通省中部運輸局に申請し、間もなく認可される見込みである。事業者としては、消費税改正に伴う改定を除くと、初の運賃改定となる。

また、市が事業者に委託している自主運行路線の運賃改定を行う場合には、道路運送法第9条第5項に規定される市民意見聴取を実施した上で、牧之原市地域公共交通会議の運賃協議部会の承認が必要となることから、パブリックコメントを実施した上で、同部会への説明を予定している。

路線	運賃決定	改定方針	状況
一般路線（市内路線：特急静岡相良線、藤枝相良線、島田静波線）	事業者	改定する	市民意見聴取不要（認可予定）
自主運行路線（萩間線、勝間田線、相良御前崎線、相良浜岡線）	市地域公共交通会議 運賃協議部会	改定する （事務局案）	市民意見聴取実施予定

2 自主運行バスの運賃改定手続

ア 公聴会等の開催等について

道路運送法第9条第5項

道路運送法第9条第4項の規定による運賃等の協議にあたっては、あらかじめ、市町村の長又は都道府県知事は公聴会の開催、パブリックコメントの実施等により住民、利用者その他利害関係者の意見を反映させるために必要な措置を講じる必要がある。

公聴会等の手法

運送する路線等にかかる住民、利用者、利害関係者へ広く意見を求める手法としては、法令上、公聴会の開催は例示であり、以下の方法などが想定される。



①公聴会の開催
（住民）
（利用者）
（利害関係者）



②パブリックコメントの募集
（住民）
（利用者）
（利害関係者）



③市政広報誌への掲載
（住民）
（利用者）
（利害関係者）



④アンケート調査
（住民）
（利用者）



⑤事業者団体へのヒアリング
（利害関係者）

※（ ）内は想定する対象者

上記①、②、③はいずれかを実施、④と⑤は併せて実施することで道路運送法第9条第5項を満たすものと考えられる。

イ 市民意見聴取（パブリックコメント）の実施

① 実施内容

自主運行バス（4路線）の運賃に関する意見聴取

② 実施期間

令和6年7月12日（金）～8月11日（日）までの1ヶ月間

③ 意見の提出方法

運賃改定に関する意見を地域振興課まで

（直接提出、郵便、ファックス、メール、LoGo フォーム）

④ 周知方法

HP、LINE、バス停設置により周知する

※上記を経て、運賃協議部会の承認を得る

- ・ 7月19日 市公共交通会議 運賃協議部会において説明
- ・ 8月中旬 意見を取りまとめ、部会委員に送付
- ・ 8月下旬 書面決議

3 改定の概要

ア 内容

改定実施日	平均改定率	初乗運賃
令和6年10月1日（火）	16.8%	170円⇒200円

イ 自主運行路線の普通運賃比較

（円）

路線	始点から終点	改定前（現行）	改定後	1便あたり
萩間線	相良本通－金谷駅	830	1,050	+220
勝間田線	静波海岸入口－金谷駅	670	810	+140
相良御前崎線	相良本通－御前崎海洋センター	510	610	+100
相良浜岡線	相良本通－御前崎総合病院	660	800	+140

※一般路線と同じ基準による運賃改定を予定

ウ 自主運行路線の運賃改定を必要とする理由

- ① 4路線は、事業者の一般路線と同様に「対キロ制運賃」を採用しており、事業者のシステム運用上、運賃改定を行わない場合、10月以降にIC定期券の作成ができなくなるため
- ② 自主運行路線の収支率は10年前の平成26年度は4路線平均27.2%であったが、令和5年度は12.3%と半分以上に低下しており、改善が必要であるため
- ③ 共同運行している他市の意向
萩間線の島田市、菊川市、勝間田線の島田市、相良御前崎線、相良浜岡線の御前崎市についても、同様の手続を経て運賃改定を予定しているため

記者クラブ各位

2024年3月29日

〒420-0822
静岡市葵区宮前町 28 番地
しずてつジャストライン株式会社
URL <http://www.justline.co.jp/>

路線バス(乗合バス)の運賃改定申請について

しずてつジャストライン株式会社(本社:静岡市葵区 社長:三浦孝文)は2024年3月29日、国土交通省中部運輸局長宛てに一般乗合旅客自動車運送事業の上限運賃変更の認可申請を行いました。申請理由および申請概要は以下のとおりです。

なお、当申請の認可が下りた時点で改めて、運賃改定の内容についてお知らせします。

記

1 申請理由

当社は1997年6月の運賃改定以来27年間にわたり運賃を変更することなく路線バス事業を継続して参りました。※

この間、当社は輸送の安全を最優先に掲げ、利便性向上のため旅客動向に応じたダイヤ改正、車両の更新等に取り組み、公共交通サービスの提供に努めて参りました。

しかしながら、路線バス事業を取り巻く事業環境は少子高齢化による人口減少に加え、新型コロナウイルス感染症の影響を経た新たな生活様式の定着等によりお客様のご利用が減少しております。

さらに、深刻化する運転士不足を解消するための人件費の増加、燃料費をはじめとした原価の高止まり等、輸送原価高騰の要因は山積しております。

このような環境下において輸送の安全を確保し、経営改善に努めるとともに、将来にわたって路線バス事業の安定的な継続を図るべく、今回の上限運賃の改定を申請するに至りました。

※2014年、2019年の消費税率引き上げに伴う改定を除きます。

※前回は当社分社前の静岡鉄道株式会社において実施したものであり今回の改定は当社設立以来初となります。

2 申請概要

・申請 日

2024年3月29日(金)

・運賃改定実施予定日

2024年10月1日(火)

・申請対象路線

一般路線バス全線

・平均改定率(実施運賃※)

16.8%

運賃改定申請における上限運賃の平均改定率 29.0%

※実施運賃は国土交通省から認可された上限運賃の範囲内において実際にお客様から収受する運賃額(消費税等込)です。

この件のお問い合わせは下記へお願いいたします

しずてつジャストライン(株) 運行企画部 営業推進
課
担当：水上、石原
☐直通電話：(054) 267-5152
☐F A X：(054) 262-2220
☐Eメール：mkutah@justline.co.jp

しずてつジャストライン(株) 総務部
総務課 月～金(9:00～18:00)
☐直通電話：(054) 267-5151
☐F A X：(054) 262-8880
☐Eメール：sjlsoumu@justline.co.jp